夕刊
新京日日新聞
定價 一部金三錢 一箇月金八十錢 郵稅 一箇月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河忠男 編輯人 松本 印刷人 谷啓二郎

大同二年豫算 一億四千六百萬圓
產業開發第一主義をとる
洋々たる前途を立證

滿洲國政府大同二年度一般會計歳出入豫算は國務院主計處に於いて査定を急いで居るが二年度は政府各部の積極的活動に伴ひ、要求豫算總額は二億一千七百萬圓の

『尨大』なる額に達しこれに對して歳出入總額は一億四千六百萬圓で約七割に過ぎず、主計處に於いては滿洲國財政の現狀に則し、公債政策を捨て健實味ある產業開發第一主義を執り、歳入總額を最大限度として約七千萬圓の大削減を斷行すると共に、新財源を全國產業開發による自然增收に求め、歳出入の平均を圖つたものであるが、建國僅かに一年なるに係らず元年度に比し、租稅、官業、官產、雜收入に於いて一躍三千萬圓を增加して一億二千六百萬圓となり、その他各部歳入の目醒しき增加により歳入總額は一億四千六百萬圓と脅威的な躍進を示し、歳出豫算面に七百萬圓の豫備金を計上せるは全滿治安の恢復に從ひ拓け行く洋々たる滿洲國財政の前途を立證するもので、赤字財政に惱まされた日本政府豫算に

『比較』する雲泥の差である

尚ほ歳出豫算に於て特記さるべきは所管事務系統を整備すべく國庫負擔（縣公署費）の民政部移管、政府借入金利息の財政部移管、各省實業廳豫算の一部を實業部に移管を斷行した點である、新豫算は一兩日中に主計處に於て最後的査定を完了の上、廿五日頃總務司長會議を開催審議の上、廿七日の閣議に上程の筈であるが、豫算面並びに再査定に依る六百萬圓の復活財源を繞つて各部より猛烈な復活要求あるものと豫想されて居る內定せる歳出入豫算は左の如し

歳入豫算（單位千圓）

	經常部	臨時部	計
財政部	一三六、三五三	三〇〇	一三六、六五三
總務廳	八二	一五、三九二	一五、四七六
民政部	一、二二一	一一	一、二三二
實業部	一、〇七四	—	一、〇七四
司法部	九九〇	—	九九〇
軍政部	四二一	—	四二一
交通部	三四三	—	三四三
外交部	五〇	—	五〇
文教部	一	—	一
合計	一三〇、五七五	一五、七〇二	一四六、二七九

財政部關係歳入豫算（單位千圓）△印は減

	二年度豫定額	元年度豫定額	比較增減
歳入經常部計	一三六、三五三	九五、三六一	三一、〇九二
租稅	一〇七、八二七	八四、八六八	二二、九九九
一、關稅	四八、八四三	四〇、四六〇	八、三八三
輸入稅	三三、九四二	二三、八一八	一〇、一二九
輸出稅	一三、五四三	一五、六〇七	△二、〇六一
轉口稅	一、一五九	一、〇一〇	一四九
賑災附加稅	二、〇九三	一、〇二七	一、〇六六
一、噸稅	一六三	四三〇	△二六七
一、鹽稅	二〇、一六〇	一六、八一四	三、三四六
一、內地稅	三六、二六七	二七、八七七	一〇、四二〇
一、雜稅	二七一	一五七	一一五
官業及官有財產收入	一六、八一九	九、九九三	七、五二三
一、占黑權運署繰入金	五、〇〇〇	四、三三二	六六八
一、專賣總署繰入金	二一、八六六	一五、五九〇	六、二七六
一、滿洲中央銀行配當金	九〇〇	—	九〇〇
司法收入	一、〇四三	四七六	五六五
歳入臨時部計	三〇〇	九〇〇	△六〇〇
水災賑濟彩票收入及官有物拂下代	三〇〇	九〇〇	△六〇〇
歳入總計	一三六、六五三	九六、一六一	四〇、四九二

歳出豫算査定（單位千圓）

	既定經費	新規經費	計
執政府	一、一〇〇	—	一、一〇〇
歳出經常部			
總務廳	三一、五三二	一、三三二	三二、八五四
（內譯）	査定額	要求額	元年度豫算
參議府	一、二六八	一、六六三	一、一三一
監察院	三六一	三九六	三二八
立法院	二六一	六〇七	二六三
法制局	一三六	三三六	一九七
大同學院	一六六	四一三	一九五
國庫補助損助	六八三	三一〇	三一二
國庫準備金	七、〇〇〇	（補助費民政部移管）	
內譯第一豫備金	（一、五〇〇）	八二三	五、一七二
第二豫備金	（五、五〇〇）		一五、〇〇〇
一、其他	六八九	一、三六九	三、一五九
一、外債償還基金特別會計資金	二一、八四九	（借入金利息財政部移管）	
		二一、八四九	三三、三六六
計	二、八四九		
興安總署	二三、六五四	四四、六八八	三九、九七七
內譯關稅擔保分	（九、八九三）	七五	二、二〇七
鹽稅擔保分	（一、九五六）	三三三	八五九
民政部	一八、〇四六		

	既定經費	新規經費	計
興安總署	二三、六五四	四四、六八八	三九、九七七
民政部	二、一三三	七五	二、二〇七
外交部	一八、〇四六	三三三	一八、五七九
軍政部	九八二	四五	一、〇二七
財政部	三〇、三二〇	六、五五八	三六、九六八
實業部	一〇、八一五	四四四	一一、一六九
交通部	一、六〇四	三六九	一、九七三
司法部	二、一二五	二一九	二、三四四
文教部	六一九	六九	六〇四
計	四、三二〇	三三	四、五五九
復活要求財源	九六、三二四	八、八七六	一〇二、三〇〇
合計			一四六、二七九

歳出臨時部	既定經費	新規經費	計
執政府	—	—	—
總務廳	九、七七七	一七、〇三〇	二六、七四四
興安總署	—	九六	九六
民政部	八四七	七〇四	一、五五一
外交部	—	三三	三三
軍政部	—	四、七〇一	四、七〇一
財政部	六、三三二	二八二	六、五〇三
實業部	—	一、四二九	一、四二九
交通部	—	七	七
司法部	—	—	—
文教部	五二	一四〇	一九二
合計	一六、八六六	四、四四〇	四一、三〇八

孫其昌氏
省內一般に好評

（チ、ハル二十二日發國通）省長の更迭の報に接した省公署では省內部に相當センセイシヨンを起してゐるが、新任孫其昌氏に就いては同氏が元黑龍江省教育廳長たりしことあり、舊知のもの多く、その政治的手腕殊に財政的手腕に多大の期待が寄せられて居り一般に好評である

目覺しき滿洲產業の發展（二）
大連市長 小川順之助

×

こんなことから日滿經濟統制と云ふ問題も起るのでありますが此の矛盾は生產者と消費者との間にはよく起ることで其の解決は中々困難であります。之に關聯して寧ろ滿洲を原料地とし日本を工業地とすべし等の意見も出ますが之は全然日滿共通經濟の原則に反する提唱で經濟政策の實際に於て行はるべきではない經濟上の主眼は日滿を一圏とする共通圏內に於て最も經濟的であるべきことで採算上最も有利なるものは之を實施すべきことであります。從つて滿洲には自然滿洲の現地工業が起らねばなりませぬ。滿洲現地工業の有利なることは製鐵事業、重油工業、硫安工業又はマグネシユーム、アルミニユーム工業、鹽業、曹達工業等であります、滿洲の諸興業に依りて日本の現存の夫等が大なる打擊を受くることは止むを得ない、日本內地の劣等產業が淘汰されることは必然であるこは從來日本丈けの狹小經濟圏內にあつたものが日滿經濟ブロツクと云ふ擴大な經濟圏內に到來した以上は必然的の結果で日滿兩國の產業革命が到來することは避くべからざることであります、從つて日滿兩國は經濟的に之が對應策を考へねばなりませぬが現に問題となつて居る鐵の如き又石炭鑛の如き其の他重要產物に就ては國策上の見地より政府自ら之が對策を講ずることが必要であるし其の他の產業に至りては先づ經濟的に之を研究し資本を誘致して有利なる事業を起して行くことが滿洲產業開發の途であると存じます

滿洲產業の從來の發展は主として鐵道の通ずる奉天省及吉林省の一部に限られて居つたのでありますが、實は農產物の點より見ても南滿洲は產業的には既に行詰つて居りますが滿洲沃野千里と申しますのは主として北滿で黑龍江省松花江流域であります此の地方は河流による肥料の堆積とも云ふべく眞黑な非常に肥沃な土地で今後卅年位は無肥料で穀物が穫れると云はれて居るのであります。從來此の地方は交通の不便と馬賊の跳梁とによつて未開の儘に放置せられたのでありますが、既に治安は大体恢復せられ鐵道は盛に敷設せられつゝありますので千里の沃野は軈て開墾せられ滿蒙天然の大寶庫は開拓せられ農產物の輸出は激增することでありませう。滿洲產業の將來を考ふる前に過去の經路を觀るに滿洲の產業は過去三十年間に於て非常なる發展を爲して居るのであります、之を假りに支那本土の產業の發展と比べて見ますれば卅年前の滿洲の對外輸出貿易は支那全体の僅約三％と云ふ微々たるものでありましたが、今日では約三十％と云ふ位に進んで居ります。又過去二十年間の例に見ましても支那本土は對外輸出貿易に於て三倍の增加を示して居るが、滿洲の對外貿易は約三十倍と云ふ急激な增加を示して居るのであります。斯くの如く滿洲が支那本土に比し急激な進歩を示した理由は一には支那本土は常に兵亂の熄む時なく住民は塗炭の苦しみに陷つて居たが滿洲は幸に滿鐵沿線が日本の手によつて治安が維持せられて居つたこと、張家父子の政治下に於ても日本の影響を受け兵亂の厄に遭はなかつたことによること、尚一つには滿洲に於て鐵道が急激に敷設されたと云ふことであります、

珠玉を碎く
製作新上映上演
吉井勇 （高根秀浩畫）
（三十五）

密會（六）

しかし部屋の中の長椅子の上で二人だけの世界に生きてゐる英一と露子には、かうして影のやうにドアの外に忍び寄つて來た男があるのを知らう筈がなかつた。二人はやつぱり夢見るやうな心持で、樂しい話をつゞけてゐた。二人の目は泣き濡れた様に潤んでゐた。二人の胸は喘ぐやうに高く波打つてゐた。

『あのね、あたし、あなたにあんな手紙を差上げるまで、どの位考へたか知れないんですよ』

露子は暫らくするとまた話しかけた。

『さうですか。僕はまた、あなた冗談にあんな手紙を下すつたのかと思ひました』

英一はわざとらしく微笑みながらさういつたが、露子はその言葉を聽くと、憤慨といふのが一番いいと思はれるやうな表情で、

『あら、あたし冗談にあんな手紙差し上げやしませんわ。あたしほんとに心からあなたに、あたしの味方になつて頂きたいからあゝいふ失禮な手紙を差し上げたんですもの。あなたはあれを御覽になつてお怒りになつたの』

『怒るものですか。しかし僕は最初あの手紙を讀んだ時にはちよつと迷ひましたよ。あなたが本氣であんなことをいつてゐるのか、また冗談に揶揄ふつもりでいつてゐるのか解らなかつたものですから……』

『そりやあ、あたし本氣ですわ。本氣であなたにお願ひしたんです わ、あたしの味方になつて下さいつて……』

さういつてから露子はぢつと男の顏を見詰めながら、

『しかしあなたは本氣であゝいふ返事を下すつたんでせうね』

『えゝ、そりやあ本氣ですよ』

英一は暫らくぢつと女の目を見返してゐたが、そのうち極然と男性らしい激しい情慾の力に體中が戰くやうに感じられた。自分を信じて縋つて來た女を、あくまでも助ける——といふことが現代の騎士道のやうにと考へられて、急に女がいとしくなつた。

『ねえ、露子さん。僕は何うして も嘘なんぞ吐けない男なんです。それだから、あなたに書いたあの返事も、また今夜かうしていつてゐる言葉も、みんな僕は本氣で書いたり言つたりしてゐるのです。ようござんすか。僕は一旦あなたの味方になるといつた以上は、あくまでもあなたの味方になつて、あなたのために盡しますよ』

露子は男のさういふ力強い言葉を聽くと、うれしさうに點頭いて、

『えゝ、どうぞ……。あたしはこれから一生あなたを頼りにして生きて行きますわ。それでもあなたは迷惑ではないこと……』

『迷惑だなんて……そんなことがあるもんですか。僕も一生あなたと一緒に生きて行きたい……』

英一はさういつて女の圓肩に手をかけながら、自分の心のおのゝきを觸れ合つた體から體へ傳へたやうに、

『あゝ、さうだ。あなたが京子さんに勝たうとするためには、もう一人味方にしなければならない人がありますよ』

と言ひかけたが、不圖嫉妬らしい心持を感じていひ直した。

『いや、しかし強て味方にしなくつてもいゝかも知れない。實はあなたの方の劇場の專務が戀るんですよ』

『えゝ、專務さんが……。今度どなたがなるんですの』

『あなたも知つてゐるでせう。この間子爵を襲つたばかりの原田つて男……』

『あの原田さんが……』

露子はぎくりとしたやうに顏色を變へたが、丁度この時ドアの外で何か落したやうなもの音がしたので、英一の目はそつちの方へ向けられてゐた。

『喧嘩の外れ彈が飛んで行つたまで』
北平の不法射撃で軍事分會 支那紙を躍らす

【北平廿二日發國通】二十一日東單牌樓に於ける支那正規兵の我兵に對する不法發砲事件に對し、我栗飯原步兵隊長より發した警告には今日に至るも何應欽より何等の回答來らず一方今朝の支那新聞までは發表を禁止であつたものが、今夕刊に一齊發表されてゐる、何れも同文で左の如く報じてゐる

昨日午前十一時日本の隊長が突如居仁堂に何應欽を訪ひて日本兵が演習から歸營の途中哈達門附近で灰色軍服の支那兵が拳銃を以て日本兵を射撃したが不都合だから警告す、と抗議して來たので憲警に調べさせた處、電車の中で支那兵と乘客が喧嘩して支那兵が威嚇の爲拳銃を發射した所を日本兵が通行中であつたので、誤解したものであることが解つた、日本軍がこんな小事件を大事件に取扱つて抗議するのは別に底意があるためだ

と記載してゐるが何れの新聞も同文の所を見ると軍事分會から發表させたものと解されるこれに依つてみるも北平當局が今尙對日態度に誠意を持つてゐない事が確認される

皇軍射撃事件 陸軍省重大視す

【北平廿二日發國通】皇軍射撃事件は陸軍省本部では、これを重大視し、一切は支那駐屯軍司令官の裁量に委ね、若し支那側で誠意を示さねば、局地的問題に止めず停戰協定成立は支那側に誠意なきものとし日本政府對南京政府の問題として乘出す用意をなしてゐる

停戰協定線上 各地に支那兵策動
協定違反として我部隊緊張

【奉天廿二日發國通】日支停戰協定線上高麗營の北方約一里半、板橋村に武裝支那兵約五十名侵入し、又順義北方二里牛欄山に支那便衣隊が策動しつつあるので、我部隊は之を協定違反となし俄然緊張して居る

張家口一帶に雲集の雜色軍約十萬
處分問題に當局手を燒く

【北平廿二日發國通】張家口よりの通信によれば、目下同地一帶に雲集した雜色軍はその數十萬に近く、馮玉祥はこれらの雜色軍を十個の軍に改編し、既に吉鴻昌、佟麟閣、高樹勛、張石生、劉桂堂、鄧文、富壽、李海青、劉振東等の十人を軍長に任命して居るが、この大兵を養ふには、一月少くとも百五十萬元を要しこの軍費は中央から出すの外なかるべし、結局政治的解決よりもこの大兵を如何に處分すべきかが大問題で、北平當局もこれには手を燒いてゐる模樣であるが、萬一これに軍費を出さないとすれば、宋哲元が如何にやきもきしても如何とも爲し得ざるべしと見られてゐる

張學良 ロンドンへ

【東京廿二日發國通】ローマに滯在の張學良は六月中旬ローマ發、パリー經由ロンドンに向つた

國際大密輸團長 哈市で策謀せし事判明

【ハルビン廿二日發國通】去る五月本部を上海に移動せりとの情報一度傳はるや、俄然日本支那滿洲の各地に亘る諜報網を緊張せしめたる土耳古コンスタンチノープルを本據とする國際大密輸團(首領シツフマン)は、上海危しと見て五月末南支に入込みたるもの如く、團長シツフマンは六月始めハルビンに現れ、變名してモデルンに投宿し、密かに策謀をめぐらして居た事實が此程漸く判明し、官憲は極度に緊張して居る、巨額の資金を運用し一千名の團員を動かして居ると稱せらるる此國際ギャングが、果して未だハルビンに根據を構へて居るや否や、官憲は目下全智囊を發揮して居る、尙シツフマンは曾つて數年前當地に居留し肉屋の看板を揭げたる隱れ場を持つて居たものである

長江の增水 あと一尺で大洪水

【北平廿二日發國通】長江の增水は連日一尺乃至一尺五寸と增加、遂に九江は全市に浸水した、尙漢口は四十五尺、蕪湖は二十八尺、南京二十三尺、鎭江十八尺の增水で各地とも今一尺增水すれば大洪水となる虞あり

シヤム外務省 新政府の政治方針送付

【東京二十二日發國通】シヤム外務省では二十日夜矢田部公使に聲明通牒の形式で左の口上書を送付して新政府の政治方針を發明した

現內閣は憲法條項の遺憾なるに鑑み、文武官よりなる立憲派は專ら議會の召集と憲法の適用を目的として一時政權をおさめる必要にせまられた閣員全部は既に辭任し、一兩日中に議會を再開し、新國務院組織となるらん

陸軍辭令

【東京廿二日發國通】陸軍辭令

フランス在勤大使館附 陸軍少將 笠井平十郎
命參謀本部附 參謀本部附 砲兵中佐 澄川賤四郎
命ドイツ駐在 ドイツ駐在 步兵少佐 鵜澤尙信
命近衞步兵第二聯隊附 ドイツ駐在 工兵少佐 多田與一
命工兵學校附

蘇聯、李督辦に
日滿蘇委員會設置を懇請

【東京廿二日發國通】森島ハルピン總領事館より廿二日外務省へ達せる報告に依れば北滿鐵路の蘇聯側代表理事は、廿一日李督辦に對し一切の紛爭を地方的に解決する目的で日滿蘇委員會の設置方を提請して來た、尙其際蘇聯側は重ねてポグラ驛連絡閉鎖の解除方を懇請して來たと、因に蘇聯側の提議は廿五日東京で開かれる蘇滿兩國の北鐵讓渡交涉とは別である

北鐵問題は 騷ぎたてる程の事はない
大橋次長下關で語る

【下關廿二日發國通】大橋外交部次長は廿五日東京に行はれる北鐵讓渡交涉に臨む爲三名の隨員を從へ廿二日下關着東上したが、同氏は語る

北鐵問題はそんなに騷ぎたてる程大きな問題ではない滿洲國の肚はチヤンと定つてゐる、既に我方は承諾し得る條件なら應じても良いと通告してゐる

露西亞相手の事だから交涉は手間取るかも知れないが我方は現在の儘でも一向構はない、今度交涉がどうなるだらうか等は判らない

國際協調主義より國家主義に!
米對經濟會議政策轉向せん

【東京廿二日發國通】某所着電によれば、經濟會議に於ける米國代表部の不統一原因は左の通りとされてゐる

一、各代表が國際會議の經驗なく各自獨自の見解を有してハル主席は部內の意見統一に苦しんでゐる

一、經濟會議と並行して開いた中央銀行總裁會議では、聯銀總裁ハリソンが代表部と連絡せず、ウオール街の實業家の意向を顧慮するのみで步調が合はず、ルーズベルト大統領は之を憂慮し、モーレイ次官補を派遣して代表等の國際協調主義からアメリカ中心の國家主義に轉向させんとするものでモーレイ自身は經濟會議に參加せぬが今後の成行は注目されると

日印交涉代表 澤田公使

【東京廿二日發國通】日印交涉に對する帝國代表は澤田公使を主席とし、商工省側よりは竹內工務局長、更に三宅總領事の三氏を任命、來る七月中旬迄には日本を出發せしめ八月上旬から交涉開始の筈

日印交涉の前提として
英印關係を明確ならしむ 松平大使に訓令

【東京二十三日發國通】二十二日到着せる三宅總領事の報告によれば、印度商務長官は今回の日印交涉に對し飽くまで英政府が印度政廳の條約締結に對し、最終的確認權を有することを明白にして居るので、我が外務當局は交涉開始の先決要件たる英印間の關係を明確ならしむべく、直ちに英政府と折衝を開始すべく、松平大使宛訓電を發する事となつた

一、英政府は日印通商條約廢棄後に備ふべき新條約乃至は暫行協定締結のため、印度政府代表をして日本代表と交涉せしめられたし

一、日印兩國代表の交涉により作成せられたる新條約乃至は協定に對する確認を與へられたし

一、日印交涉の成果に對する正式調印の經過並びに手續前までに關する英政府の明確なる意向を承りたし

大藏省では
複合關稅の有效性を疑問視 別方法を採用か

【東京廿二日發國通】問題の複合關稅制度に關し大藏省では左記の理由に依りこれが實施の效果に對し多少の疑問を有し、寧ろ別の方法を採るを可とする、との意見があり目下研究中である

一、經濟的にみれば日本輸入品の六割五分は原料品若しくは半製品にして、無稅か或は非常なる低率にして僅餘の三割五分が製成品たるに過ぎず、我國の關稅政策に依つて統制し得る國は狹小であり、從つて餘り效果的でない

一、技術的に謂へば複合關稅の採用は非常に複雜であり各品目別に多種類の稅表を作製し置くを要し短時日の間には到底準備し得ない

日印交涉に
印度商務長官回答

【東京廿二日發國通】外務省着電によれば、三宅駐印總領事は二十一日午後印度商務省ボーア長官と會見して、日印交涉を正式外交交涉としたいと云ふ我が意向を提示し、ボーア長官は左の回答をなした

一、日印交涉は、元來英國政府が松平大使に提議したものなので、一應形式上、松平大使より英國政府に日本の意向を傳へられたい

一、印度政府は憲法上、條約締結權無き故、會商の結果何等かの成果を得ても英政府の確認を要す

一、シムラ會商は廣汎に亘る故樣故、可及的速かに交涉開始を希望する

右はボーア長官が英國政府と外交交涉の問題に就き交涉の結果と見られるので、外務省では明日中に松平大使に訓電を發して英國政府に形式的手續を執ることとなつた

樞府委員總會
關稅休日案を審査 二十三、四日頃開催

【東京廿二日發國通】樞密院は二十二日午前十時より樞府事務所に二上書記官長外務省の栗山條約局長其他關係者出席、關稅休日案に關する下審査を行ひ、主として留保條件の內容並びに留保條件の執行に際しての國際關係等に就き審議を行ひ、正午一先づ散會、午後一時半から黑崎法制局長官も出席、更に審議を重ねたが、大体下審査を終了したので、二十三日或は二十四日第一回委員總會を開き大体二、三回の審査で終了の見込である

在滿朝鮮人の現狀(二)
關東憲兵司令部發表

四、滿洲國成立と在滿朝鮮人の福音

在滿朝鮮人が前述の如き壓迫の中に苦惱しつつありし秋忽然として滿洲事變勃發し舊軍閥の苛斂誅求より救出せられ王道政治の曙光に浴し、諸族協和の理想鄕に新生を得、以て一新機軸を開き今や自覺啓蒙の緒につき幾多積年の希望に向ひ邁進し得るに至れり

即ち舊政權の鮮農驅逐問題は永遠に根絕せられ、商租權、居住權土地所有權等の諸問題其他公民權獲得等につきても日ならずして希望の域に達すべく從來入籍執照を得るに幾十萬圓を消費し居りたる金額は變じて農業資金となり、昨日の漂流生活は本日の土着農村の主人公たり得、又政治的に有能の士が政治的組織に參與し得るの日も蓋し近き將來にあるべし

五、在滿朝鮮人の事變時に於ける狀況

滿洲事變勃發するや舊軍閥官憲及支那人は在滿鮮人を仇敵視し凡有迫害を加へ兵匪賊は逆殺、暴行、掠奪の限りを盡し、爲に彼等は衣食に窮し多年開墾したる耕地を後に着のみ着の儘にて滿鐵沿線乃至は都市へ避難し、殊に北滿にありては昨夏の大水災に遭遇し實に其の慘狀忍ぶに堪へず、終に各當局は之が救濟に痛心せり、然るに邦國の對滿政策も統一せられ、滿洲國承認と共に其國防治安の法策も確立し滿洲國內の各地の兵匪も逐次淸掃せられ春耕期到來に伴ひ各地に避難せる者も我官憲の指導保護の下に原地に復歸或は集團農場に收容せられて農耕に從事せらるるに至れり

六、在滿朝鮮人の現在に於ける狀況

(一)一般狀況

事變以前より滿洲に在りし朝鮮人が既に避難地より逐次原地に復歸しつつあるは前項に述べたる所なるも、治安の恢復と共に新移住者の數も漸次增加し在滿鮮人救濟の目的を以て開設せられし集團農場も當局の努力に依り今や數ケ所の着手を見、又滿洲國官公署に奉職せる鮮人も概ね忠實に服務しありて一般に思想も漸く轉し覺醒の域にあり、而して漸次彼等子弟の敎育機關の促進を叫び或は宗敎心の擡頭を來すの情勢にあり、昨秋滿洲國が阿片專賣法を實施したるが爲從來此種密賣を以て生活しありし鮮人は大なる恐慌を來せるも相互扶助の團体を編成し逐次正業に就く如く指導せられつつあり

在滿不逞鮮人は事變以來日滿軍の彈壓により其の勢力衰退し永年標榜せる韓國獨立並民族運動も遂に實現不可能となり、漸次第三インター雷動し共產主義に轉向以て中國及蘇聯の後援の許に匪賊と呼應し漸く反日滿的行動を持續しつつあるも、在滿治安機關の充實と共に益々衰退の已むなきに至るべき情態にあり

(二)集團農場經營狀況

鮮人集團農場として計畫せられあるもの數ケ處あるも未だ全部の着手に至らず、之が實現は治安の確立と相俟つて相當の期間を有するものと認む以下目下計畫中のものを述ぶれば次の如し

1 海拉爾河地方移民計畫

海拉爾附近居住鮮人の三は十五家族約八十名にして彼等は約廿年前東支鐵道敷設當時工事人夫として來滿、爾來農業の傍ら洗毛工場にて麻袋縫をなし一ケ年一家族の收入平均百五十圓にして生活の困難を感じ、同地居住鮮人會長李春は之が打開策として昭和七年二月滿洲里日本領事館に對し三河方面に集團移住方を歎願したるも、當時蘇炳文が之を許可せざりしが本年一月蘇炳文潰走を好機とし更に歎願書及資金貸下二萬百二十元及返却豫定書並生產調査、移民調書を海拉爾領事分館經由滿洲里領事に提出しあり

2 哈市鮮人居留民の集團農場計畫

哈市鮮人居留民會に於ては本年二月收容中の避難民約六千名及四千餘の居留民に對する生活安定策として哈市日本領事館並朝鮮總督と交涉することに決し次の如き集團農場建設すべく計畫中なり

經濟會議依然前途に光明なし
―米國の態度益々注目さる―

【ロンドン廿一日發國通】經濟會議は開會以來既に十日、茲數日來通貨經濟兩委員會の各分會委員が午前、午後に亘り、專門討議を行つてゐるが依然會議の前途に光明が見えぬ、此間米國の態度は特に注目的となつて居り、殊に米代表部內の不統一を拾收するため大統領の新訓令を携へて近く着英する國務次官に注意が拂はれてゐるが、其新訓令は却つてハル長官の國際協調主義と異り、孤立主義を基調とするものと謂はれ、英、米、佛三國の通貨安定協定は益々絕望視されてゐる現狀である

ラ卿來栖局長を訪問
日印問題協議

【東京廿二日發國通】ボムベー紡績業者代表としてラリユバイ卿は廿二日午前十一時外務省に來栖局長を訪問、日印問題印棉不買問題に關し協議した

産金買上價格 差當り現在のまま
當分經濟會議の推移をみる

【東京廿二日發國通】政府は國際爲替市場の變化に伴ひ、產金買上價格基準を變更するため、研究なつたが、二十二日に入り、大藏省は經濟會議の推移をみるため差當り現在の價格に据え置くこととした旨發表した

日印、日英間の根本問題は
日英間の爲替問題だ ―石井全權演說―

【ロンドン廿二日發國通】石井全權は二十一日夜ロンドン日本協會の晚餐會で滿洲問題を中心に日英兩國間の親善關係を强調したが、特に對印問題に關し左の如く演說をした

日本は日印乃至日英間の困難なる懸案に就いてもその解決に全巾的協力を惜まぬものである、日印乃至日英間の懸案は窮極に於て兩國間の爲替相場が未曾有の變動を示してゐる事實に歸せられるべきものである、故に國際爲替の根本問題が一旦解決されるならば國際貿易は正常の基礎に復歸するに至るであらう

滿洲に於る日本の政策に關しては現に公職に就て居らず從つて些かも遠慮する處なく事實を述べるものであるが滿洲國の建設以來日本が之に協力し着々滿洲の狀勢改善に貢獻してゐるのは誠に同慶に耐えぬ

と述べた

石井全權の演說に次ぎ保守黨內閣元海相クーリツヂマン氏は

爲替協定成立せずば
經濟會議の前途行き惱み

【東京二十三日發國通】米政府は爲替協定不成立が會議の進行に對し大した障碍を與へるものでないと聲明してゐるが、一方フランスを始め歐洲金本位國は爲替安定、通貨の安定は會議の進行に重大因果關係を有し、之を飽くまで重大視してゐる、斯くてフランスの立場と正面衝突を來たすは勿論米國對歐洲諸國の對立は會議をして益々暗礁に乘上げしめるのみだ

ウルグアイ政府 經濟親善使節派遣

【東京廿二日發國通】初任代理公使を派遣した許りの南米ウルグアイ政府では近く經濟親善使節を日本に派遣する事となつた一行はモンテビデオ大學教授サンデー博士が團長として七月四日大阪商船のりおじやねろ丸で到着冷肉罐詰機械等其他五十數種の見本市を當地で開く筈である

その日く

□北平の不法射撃を「日本が底意あつて重大視す」と軍事分會發表

□誠意なき停戰協定はいつにても破約すべし、我より乞ひしものにあらず

□銀の安定に基き滿洲國官吏俸給減俸案出づ、蓋し當然の意見俸給が高いから遊ぶ、豪慢ちき、……非官吏の弊……官舍なく、恩給、退職手當なく、安定さなし……官吏の聲……

人事往來

▲平田少佐(步兵第〇〇聯隊)二十二日午前八時四十分ハルビンへ
▲水谷秀夫氏(關東廳高等課長)二十二日午後零時三十分吉林へ
▲藤井中佐(工兵第〇〇大隊)二十二日午後四時三十分南行
▲久下沼監察官(關東廳)二十三日午前八時來京
▲森本警務課長(關東廳)同上
▲小川市長(大連市長)同上
▲金璧東氏(新京特別市市長)二十三日午前九時奉天へ

團体

▲安東全野球團十七名二十三日午後三時二十五分來京
▲撫順全野球團二十名二十三日午後七時五十分來京
▲奉天全野球團二十名同上
▲福岡縣郡外協會八名吉林往復

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊 一九片〇〇〇
同 遠限 一九片六二五
紐育銀塊 三五仙四分三
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲綿花

米棉 現物 七月限 十月限 十二月限 一月限 三月限 五月限 [illegible]

●印棉 ブローチ ベンゴール オームラ [illegible]

▲上海票金

昨止 高值 安值 本寄 步值 [illegible]

▲上海紐育向 [illegible]

▲大連金鈔票

賣直 買直 現物 遠期 [illegible]

寄付 步近值 引出 高安 止值 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 大株 新東 新 鐘紡 新 [illegible]

▲同短期 [illegible]

▲大連株式 [illegible]

▲大阪三品 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪期米 當限 中限 先限 [illegible]

新京市況

大豆 現物 出來高 [illegible]
高粱 出來高 [illegible]
小豆 出來高 [illegible]
▲錢鈔(現物) 鈔票對金票 現大洋對金票 國幣對金票 國幣對鈔票 [illegible]

執政府翊衛軍兵士 長銃で遊女ボーイ五名を射殺

上衣、長銃を捨て巧みに逃走 昨夜城内の血煙り

執政府翊衛軍兵士が所持の長銃で遊女四名ボーイ一名を射殺した事件が王道樂土の滿洲國首都新京にあつた、廿二日午後九時四十分ごろ新京城内新市場萃興胡同五號、料理店長悦堂こと張營恩氏方へ執政府内翊衛第二連第六班中士張廣選（二六）が長銃を所持し突然躍込み、妓女月江（二二）鳳樓（二〇）秀卿（一九）紅寶（一八）ボーイ周往歲（四〇）の五名を射殺し逃走した、急報に接し首都警察廳並に大經路警察署では直に署員の非常召集を行ふとゝもに全市に非常線を張り犯人逮捕に努めてゐるが、二十三日午前九時ごろ南關東大橋下東岸に犯人の上衣が脱ぎ棄てゝあり又程遠からぬ永春路義發木門前の水溝中に長銃一挺實彈四十二發を投込んでゐるを發見したことが判明し犯人は南關方面に逃走したことが判明し首都警察廳からは直に騎馬隊を派し南關一帶に亘つて大々的捜査を開始した

馴染に逢はせぬのを うらみの犯行

射殺の原因につき首都警察廳で取調べた處犯人の馴染の妓女金玉鳳（二〇）が二十二日午後一時ごろ双發堂から鞍替して來たことを知り、午後四時ごろ金に逢ふべく同家を訪れたが主人張榮恩氏が拒絶したゝめ遺恨をもち前記の兇行に出でたものである

犯人の身許

犯人は河北省北平縣東城生まれで大同元年三月十七日執政府翊衛軍二連六班に入營したものである

あす朝交代兵 吉林へ

目下交代しつゝある新京警備隊の殘留部隊〇〇〇〇名は廿四日午前六時發列車で新駐地吉林新站方面に向け出發するに決定、市民は見送りに出てその勞苦を犒ひませう

建設の國都　新京驛北ホームに到着した木材貨車（本年一日平均西北兩ホーム各三十車例年の約六十倍である）

新細菌檢查所 十月十日に完成

傳染病の流行期と共に多忙を極める細菌檢查所は現在日本橋通東公園内に假設されてゐるが滿鐵衛生課では物凄い新京の傳染病猖獗に鑑み同所の大々的活躍を必要とし充實した檢查所を新に設置する事となり祝町二丁目（現消防隊前）に丸山組の手によつて工事を急いでゐる、新築の同所は約七十坪二階建のモダーンなもので動物室、ペスト室を初め種々の實驗室を設け、別に藥局生を增加し飲料水、腐敗物等の檢查をも行ひ一般衛生に付いて目覺しい飛躍を試みる筈で遲くとも十月十日迄には竣工を見る模樣である

入院患者と 看護婦の道行き 男の家人から捜查願ひ出で

入院患者が看護婦と戀仲となり家人の目を盜み手に手を取つてドロンをきめこんだのでこれを知つた家人は驚き捜查願を新京署に屆け出た、奉天橋立町十七番地大橋病院看護婦高市米子（十九）さん（假名）は全病院に入院中の古川某と情を通じ割れない仲となり二人は本月五日無斷家出し公主嶺丸福旅館に投宿し愛の享樂に耽つてゐるを家人が發見し手を廻したところ二人は二十一日全旅館を出發行方不明となつた

市民講演會 今夜室町校で

修養團常務理事二木謙三博士の一般市民講演會はいよく今二十三日午後七時半から室町小學校で新京敎化聯盟主催の下に開催されるが男女を問はずぜひ一般の傍聽を希望すると、同博士は東洋民族の理想と正しき食物の題下に熱辯を振ふはず

皇軍將士慰勞 昨夜盛大に行はる 主客四百余名列席

在京皇軍將士慰勞宴は二十二日午後七時ヤマトホテルに開催されたが折惡しく豪雨のため俄に會場を變更、大食堂、中食堂に立食の席を設けたゝめ來賓武藤元帥以下各部隊の將校百七十一名、主人側二百六十六名といふ大多數がすし詰めの有樣、席定まつて栗原總領事の挨拶があり之に對し武藤元帥の鄭重なる謝辭があり、何れも會場に設備されたマイクロホンを通じ日本全國に中繼放送された筈、斯くて主客交々乾盃して祝福をさゝげ寬いで歡談一時間余で散會した

銀の安定に基き 滿洲國官吏減俸案

或は恩給制度の退職手當制 各方面からの意見

銀低落時代に定められた滿洲國官吏の俸給は最近の銀價昂騰に際しては餘りにも高給であると各方面よりこうした意見が述べられてゐるが財政難に惱まれてゐる滿洲國政府としても軍部の意向もあり金票對國幣に殆ど差異のない今日減俸は當然であるとの意見に漸次傾きつゝある模樣で減俸の代りに一時拂の恩給制度即ち退職手當制度を設けられるものと見られてゐる減俸額は未だ確定してゐないが高給者の減俸は多く、下になるにつれ少くなるものゝ如くである

きのふの雨 坪當り八斗六合 本年に入つての最高記錄

二十二日午後三時馬糞を飛ばす强風がやみかけたころから雷を伴ひ豪雨が襲來した、降りこまれた買物歸りの奥さん學校歸りの兒童などあちこちの軒下に雨宿りしたが、容易に上らず三時五十分ごろに至りやつと小降りになつた、觀測所のお話しではその間の雨量四十四ミリで坪當り降りも降つたり八斗六合今年に入つての最高雨量である

新京で初めて あす野球放送 州外大會の現況を

第七回州外野球聯盟大會は在京野球ファンの待望裡にいよく明二十四日正午から西公園グラウンドで開催されるが第一日は入場式についで商業學校バンド演奏の下に滿族の掲揚式あり、前年の優勝撫順チームから優勝旗を返還し、終つて岡村參謀副長の始球式によつて競技は第一次試合から始められるがこれら入場式から第一次試合の經過に至るまで、新京放送局犬飼アナウンサーによつて放送されることゝなつたが野球放送は新京では全く初めての試みである

陸士幼年校 入學志願者に

在滿邦人で本年陸軍士官學校豫科並に幼年學校の試驗を受けるものは兩者とも九月三十日迄に關東軍司令部兵事班又は各所管の兵事係に詳細を確められるやうなほ本年の受驗年齡は士官學校豫科大正三年四月二日より大正七年四月一日迄の出生の者、幼年學校は大正八年四月二日より大正十年四月一日迄出生の者である

晝夜兼行大急ぎで 犧牲的の努力

警備の兵士達が嚴重警戒に

水の源を探ねて (B)

新京將來の問題はそれで解決するとしても、差しづめどうするといふのだ、水の權威者達が口を揃へて「大丈夫」と太鼓判を押してもそれは將來の問題で現下の水飢饉には何らの影響もない小學生は水筒を肩にかけて登校する、まるで毎日遠足にでも出かける恰だ

奥さん連中は寄るとさはるとこの水の小言ばかりだ、お役所を始め各會社銀行商店等々到るところ手洗の水にも事を缺ぐそれのみが此の問題に最も惱まされてゐるのは病院で新京醫院の如き患者は事變前に較べて二倍三倍に增加したが肝腎の水がない今では淨溜水がなくて細菌の檢查も出來ないといふ困り方滿鐵山の患者をかゝへて當局者の氣苦勞もまた想像に余りありといふべしださて、そこで問題は水源地工事を急ぐよりほかないわけだ首都の人口は躍進的にぐんく殖えてゆく、水問題もそれに正比例してずんくやつて然るべしだといふのが一般市民としての言分ではあらうが實際を見聞して見ると、そこには想像もつかない大きな苦心、全く犧牲的な努力を拂はれてゐるのを知るであらう

恰度記者の一行が出かけた去る二十二日は例の問題の井戸二つが一つは既に完成し、今一つは近く竣工しやうといふところ、なほ一方これ以外に本年度計畫（井戸十二）も既に着手し、はや完成近づきつゝあるものもあつたが、何れも汗ダクくで働いてゐる

□　□

□　□

施工者の淸水組宮田現場主任の話によると、使役されてゐる苦力は現在三百五十名で、全く文字通り晝夜兼行だそうだ、人口には見すぼらしい支那家屋があり、『新京第四水源地警備隊』の表札がかゝつてゐるが、何をいつても人里遠く離れた僻地であるいつ何ん時匪賊の襲擊があらうかも知れない、二十名の警備隊は銃劍を肩に晝夜警戒の任に當つて與れてゐるのである、こゝの實景を目の邊り見る時知らずく涙ぐましいばかりの感激を與へられるのである、施工の人達は兎もかく彼等兵士達には何の慰安もなければ何の娛樂もない、豚小屋同樣の家屋に寢起して、終日終夜たゞこれ嚴重警戒の任に當つてゐるこうして工事は最大限度の人夫を使用し可及的速かに完成を急いでゐるのだ（つゞく）

移民花嫁の月下氷人 小河書記官歸任 移民が鶴首する土產話し

對滿移民事業及農地開拓會社設立問題其他重要案件打合せのため上京中であつた拓務省新京出張所長書記官小河正儀氏は廿四日午後七時五十分着の「ハト」號で歸任する事になつたが、同氏は移民花嫁斡旋の主唱者で、在京中同氏宛志願者殺到し血書の手紙まで寄せた熱心な婦人があつた程であるから、同氏からの吉報は自然移民團の待望久しきもので、何れ近日中市川隊長等と打合せの上之が具体策が講ぜられる筈である

旅客事務打合會

十月一日よりの滿鐵線ダイヤ改正を前に各驛の意向を聞くべく新京鐵道事務所では二十七日より旅客事務打合會を開催する事となつた、同打合會には列車區長、管内各驛助役、事務主任等が出席する筈

新京警備の交替部隊着京

新京警備の山田〇大尉と交替して蘇炳文討伐に勇名を馳せた松木部隊岡本平城少佐を隊長とする〇〇名は二十二日午後五時僞本警備司令官以下市民、學生生徒多數の歡迎裡にハルビンより到着、岡本少佐は出迎への市民に挨拶を述べた後全員堂々警備隊兵舍に入つた、尙ほ山田〇隊は近く新京出發、廣瀨部隊に復歸して某方面の警備に當る筈

早大選手來京打合

早大陸上競技部の新京遠征プログラムを決定すべく滿洲体育聯盟常務幹事小數賀、林兩氏は廿三日大連から來京、直ちに新京体育聯盟幹部と滿鐵社員クラブで協議を遂げ新京に於ける對抗試合、一行日程その他につき打合はせた

東北帝大で研究 魚の臟腑と人糞からガソリン

（仙臺廿二日發國通）魚の臟腑と人糞からガソリンを作る意外な研究が目下東北帝大化學工學科の齋藤講師によつて

下士卒兵達へ 清涼料を寄贈 けふ時局後援會で

新京時局後援會では在京下士兵達の勞をねぎらふべく淸酒料金三百圓を贈ることゝし二十三日會長荒木地方事務所長および勵崎地方委員會議長は打ち伴れて軍司令部を訪問してこれを手交した

山村大尉明朝出發

奉天附屬地憲兵分隊長に榮轉した山村憲兵大尉は二十四日午前九時新京驛發ハトで赴任する

赤痢豫防錠服用者に

新京消防隊では先に地方事務所衛生係と協力して今次益々蔓延の徵ある赤痢の豫防をなすべく一般市民へ赤痢豫防錠を分配しそれと同時に赤痢豫防錠服用調查票を配布したが該票を添附して來た者は僅一部に過ぎず、消防隊ではこれの處理に迷惑を蒙つてゐるから至急消防隊迄屆けられたい

栗島すみ子のくじやく船

新京商事映畫部の手で二十三日から三日間長春座で上映する映畫は孔雀船と無宿の佐太郎と決定した、報知新聞連載のモデル小説として好評を拍した「孔雀船」を松竹が大日方傳、栗島すみ子主演で映畫化したもの久方振りの城多二郎、奈良眞養、逢初夢子、澤蘭子等の助演を得て完全に觀客をアピートし。野田高梧の脚色によつて原作を充分に生かし戀愛形式に波紋を投て居る。時代劇「無宿の佐太郎」は古野英治監督下に右太衞門主演の映畫原名「僞政者の戯れ」とあつたが右太衞門獨自の社會觀を如實に表現する事に効を奏して居る因に二十四日の土曜と二十五日の日曜は晝夜上場する

ラヂオ

廿四日（土）新京

新京後三、〇〇 レコード
講演 新京に於ける司法警察 司法科長 范國珍
ニュース（滿洲語）
相場
大連後四、一〇 運動競技實況放送（第三回戰）大連より中繼
東京后六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 演藝又は講演
同 後七、〇〇 ニュース（英語）
同 後七、一〇（露西亞語）
同 後七、二〇 ニュース（朝鮮語）
同 後七、三〇 ニュース 氣象概報、放送局編輯及プログラム豫告
同 後八、〇〇 演藝

幕末異聞

愛慾火箭

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟
（近上映）

（九十二）

護持院の喜三（一）

神田橋外の、俗に言ふ護持院ケ原の眞晝間であつた。

五代將軍綱吉の登願で建立された護持院も、享保二年に炎上以來、音羽の護國寺へ移つたので、跡はなすにまかした荒野原だつた。

芒、尾花の生茂つた中で鶉が小うるさく啼き囀つてゐた。

今丁度、稲葉丹後守の邸について廻つた一人の浪人姿の侍がゐた。

まだ若い、と言つても二十七八歳、深く面を宗十郎頭巾で包んでゐるが、顔一面に火傷の跡が吊つて、二目と見られぬ醜男であつた。

唇が顋へ引きつけて、平常開き放しの口から、だら〳〵と涎が垂れてゐた。

額から左眼へかけて一刷染めたやうに黒く痣がある。鼻は焼け落ちたと見え、ほんの形ばかり真中にちよッぴり喰ッ付いてゐるのであつた。

諸手共、内懐したと見え両袖が風に靡いてゐる。左足の筋を切つたと見えて、心持足をひいて歩いてゐる——

それは何と、雲州松江の大目付黒田刑部の御用人、金子喜三郎の成れの果だつた。

護持院ケ原へ這入つて來た。

原とは寺の焼跡の事とて、泉水燈籠、築石などその儘で荒れ朽ちてゐる、その泉水に面した築石に腰をおろし、左手を襟元から出して顋に當がつた儘、生欠伸一つ——

じろり薄氣味悪い白眼を光らせたかと思ふと、軽く頷いた。

その時、一つ橋の方からお濠傳ひに、道を急いで來た嫁御があつた。

それは四谷の大木戸を少し行つた。俗に紺屋横町と呼ばれてゐる。大相寺の地藏堂の傍にある煙草屋、佐野屋久右衛門の嫁おちえであつた。

芒の間に坐り込んでゐる、喜三の姿は其處からは見えなかつた。おちえは淋しい場所だけに、思はず足が速くなつてゐた。

『一寸お女中!』

芒の間から喜三が呼んだ。

『え?!』

おちえは驚いて立ち止つた。

だが人の気配がないので、おちえはまた歩み始めやうとした時、つゝゝと芒の枯葉を押しのけて歩み寄つて來た喜三が、再び聲をかけた。

『お女中』

『え?!』

おちえが二度目の聲に、思はず踏み止まつて振り返つた瞬間——颯と銀光が宙に輪を描いたかと思ふと、おちえは紅に染まつてはつたり倒れた。

辻斬り。喜三が一太刀でおちえの生命を取つたのである。

喜三は左手に血刀をさげた儘屍を打眺めてゐる。見れば喜三には右腕がない。袖が縮りなく風におのゝいてゐる。

おちえの袖で血刀を拭つて、ばつちり刀を鞘に納めた。そして、首にかけた財布を屍から脱した。財布は蛙を呑んだ蛇の様に、ふつくり膨れ上つてゐた。

にんまり喜三の醜い唇に、笑みが浮んだ時、物の蔭から顔を出した、この四邊に巣喰つてゐる乞食の一人があつた。

『おゝ、お武家一寸待つてお呉んなせい』

『え?!』

喜三は屍から目を放して、その顔を見上げた。

『ね、お武家、お侍様の辻斬りにわしら乞食風情が、とや角言ふんぢやござんせんが、その女はたゞの町家の嫁御ぢやござんせんで……』

『何と申すのぢや』

分け前を呉れとでも言ふのかと喜三は、心易く思つてゐた。

『ね、その嫁御は譯はよわしらの仲間の娘なんでござんす』

斯うその乞食、郡内の襟が言つた。

『馬鹿な、乞食風情から素人が家を……』

六月二十四日　土曜日
閏月　辛酉
廿二日　赤口
四日　平
　　　柳宿

●一白の人　幸運は一家を潤して萬事通達す進むに吉し　辰さ未さ寅が吉
●二黒の人　天馬の空を駈るが如し起業開店何れも吉し　乙さ丙さ丁が吉
●三碧の人　事業の振はぬ日失物盗難怪我水厄注意肝要　未さ坤さ申か吉
●四緑の人　人の煽動に誘はれて失敗を招くべし普請凶　壬さ癸さ寅が吉
●五黄の人　七轉び八起きさ倦まず撓まざれば終に成る　乙さ辛さ戌が吉
●六白の人　力負けをするの日静かに家業を守るが安全　戌さ亥さ寅か吉
●七赤の人　躊躇すれば好機脱がすべし勇躍するが吉　甲さ丁さ寅が吉
●八白の人　千百の思案も役に立たぬ日口舌爭論亦注意　丙さ庚さ亥が吉
●九紫の人　煮え湯を呑まさるゝ憂あり口舌訴訟金談凶　乙さ丁さ戌が吉

新京日日新聞
定價 一部 金三錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

物價引き上げが最も重大なる寄與

通貨の安定は第二次的のもの

米代表部重大聲明

（ロンドン廿二日發國通）米代表部は本日午後英、佛、米の三國首腦全權間に於ける會議に續き、通貨安定に關する左の如き重要聲明を發表した

通貨安定の目當附き且事實上の安定に關する提議案を考慮するに當り、之が不當に重視されてゐる感があるが、之は決して米代表部の態度ではなかつた此の案は英、佛、米三國大藏省並に中央銀行代表者によつて考慮されたが、米政府はその暫定的安定の方策が、今日その時期にあるものでない事を發見するに至つた、米國政府は物價を引上げんとする努力を最も重大なる寄與であるとなし、從つて之等の努力を妨げ、物價を引戻す可能性ある一切の事柄は會議を阻碍すべき事を感ずるものである

印度政府の交渉權限で

松平大使に訓電發せられん

（東京廿三日發國通）外務省では曩に日印交渉について發送せる照會に對し印度政廳商務長官ボーア氏からの回答を得たのでシムラ會議に於る印度政府の外交々涉權限問題で松平大使宛てに左の訓電を發するものと期待されてゐる

一、四月二十六日のサイモン外相提議にかゝる日印通商問題に關する直接交渉をする事を受諾し近く代表を派遣し印度政府と正式交渉を爲す用意あり

一、右交渉に於て通商條約の復活乃至改訂の件を討議したいが、印度政府は外交々渉の權限を有せず英國政府は其の資格を附與するや否や承はりたし、協約の成立に關し英國政府と帝國政府の確認を要するは言を俟たず

尙外務省では今次の交渉を正式交渉とし成るたけ同時で條約乃至協定の調印を了し日英兩國の形式的なものとしたい意向で英國政府の回答到着を待つて直に澤田三宅兩氏を正式に任命し全權委任狀を附與する筈である

産金買上再開を大藏省が發表

（東京二十三日發國通）産金買上の標準たる弗爲替の動搖激しく大藏省では一ケ月ばかり産金買上を中止して居たが磅を標準とすることにも難點あり別項の如く四月二十四日改訂したる八圓八十八錢を据置きて買上再開を發表の筈である

磅基準説を止めて据置いた理由は左の如し

一、海外拂が殆んど米國向である外磅基準としロンドンに現送させば距離的に遠くて保險料運賃等の諸がかゝり高く買上價格の割引率を要にするが必要

一、政府は今直ちに現送の意志無く、現在の値段で据置いて危險少し

一、經濟會議で爲替協定を討議して居り、磅とても安全で無い

金地金買上

價格は當分据置決定

（東京廿三日發國通）大藏省發表金地金買上價格は對米爲替相場基準に算出したがアメリカの金輸禁止後事態變化し政府は之に適合する價格決定法を研究中だが、目下經濟會議中故之が推移を見る必要上差當り買上價格を据置くことゝした

電信電話會社

株式應募者超過せん

鮮銀及び中銀各本支店で七月一日から公募

日滿兩國政府の協定により設立さるゝ滿洲電信電話株式會社（資本金五十萬圓）では總株數百萬株中民間より二十八萬株募集することゝなり、その內十萬株を滿洲國內に於て七月一日より次の規定に基き公募するに決定した

一、一株の金額五十圓

一、申込株數單位、十株及その倍數を以てし、端數を附せざること、但し五株のみの申込は受理する

一、申込證據金一株につき金二圓五十錢或は國幣二圓五角

一、申込期間七月一日より七月四日まで

一、第一回拂込金一株につき金十二圓五十錢

一、拂込期日七月二十八日

滿洲に於ける申込所は金圓を以て配當する株は朝鮮銀行各支店、國幣を以て配當する株は中央銀行及各分支行で取扱ふ事になつてゐる、從て新京では朝鮮銀行新京支店及滿洲中央銀行で取扱ふ、同株式は政府保證年六分配當だけに內鮮は非常に人氣よく申込株は公募株以上に達するものと見られ、當地に於ても人氣沸騰公募數を遙に超過するものと見られてゐる

憲兵分隊長會議

廿四、五兩日新京で開催

高粱繁茂期を控へ匪賊の跳梁を防止するため新京憲兵分隊では來る二十四、五兩日隊下各分隊長を新京に招集對策打合せを行ふことになつた

拉致された松室大佐けふ身柄釋放さる

拉致した匪賊團をも歸順さす

去月二十一日某重大任務を帶び承德から白川軍曹の操縦する飛行機で某方面に向ふ途中機体に故障を生じ哈嘛溝門（圍場西方約十五里の地點）に不時着、遂に飛行機は燒かれ、白川軍曹は殺害されながらも支那語に巧みなのと蒙古通のため巧みに匪賊を懷柔し一旦は拉致され、生命の程氣遣はれた松室騎兵大佐は遂に匪賊歸順に成功二十四日拉致されて一ケ月目に身柄を匪賊團から釋放せらるゝと共に正式に二百余名の匪賊を歸順せしめることゝなつた

松花江水運の發展を期待す（七）

駐滿海軍部の活動

滿洲國政府の依頼に依り我水路部より派遣され目下松花江方面を調査中の海軍測量隊は、凡百の苦心を重ねつゝ水路調査開拓の任務につくして居る、本年六月實地に調査せる、哈爾賓上流水路の狀況は左の通りであつて、從來未詳の點も次第に明瞭となり、水運發展上に資する處多大なるものありと思はれる

一、哈爾賓上流松花江及嫩江の水路

（一）哈爾賓、江橋（洮昂鐵路と嫩江との「クロス」點）間の水路は、水深五呎以上（常時哈爾賓水位海關零上六呎二乃至五呎九）にして世人の一般に考ふるよりも遙に良水路にして、之を三姓其他多數の淺瀨を有する哈爾賓下流松花江に比すれば、水利の便大にして利用の價値充分あり

（二）川筋の彎曲度も世人の考ふるよりも遙に緩にして「ライター」一乃至二隻曳航充分可能、同種の曳航、曳船との航過も安全である

（三）從來世間に現はれて居る地圖、若は水路圖は現地と照合するに、極端に相違して居る

據つて今回同隊に於ても差當り一般の用に應ずるため水路圖を作製中である

（四）分水路多數存在すと考へられたが斯る個所は一、二個所存ずるのみにして、下流松花江の複水路あるに比すべくもない、又近々航路標識完成するを以て、水路に迷ふが如きは昔日の談となるであらう

（五）松花江の南岸に殘存する匪賊は、江岸水路の要所を占據し、簡單乍ら散壕を構築し、通行船を狙撃し、中には水路の通行稅を取るものもある

哈爾賓 江橋間所要時間

上り五十二時間　下り三十四時間

二、江橋附近の水路

嫩江の水路は、洮昂線江橋鐵橋にて二路に岐れ、本流は東を流れ分流は西を流れて、江橋驛の方を接流し更に南下して橋の南東約七粁の地點に於て本流と合す

本流（東）は水深五呎以上にして深く分流（西）は二、五呎以下にして航行不可能である

鐵橋上流の水路も水深適當にして、船舶の通行可能、齊々哈爾、富拉爾基昂々溪方面への水運の利用の價値大なりと思考せらるゝも如何せん江橋の架橋低くして、折角天與の水運も此の鐵橋にて阻止せられて居る

一般汽船は鐵橋下流附近に投錨するを可とす

西分水路の西岸は三―五呎の崖を成し「ライター」の橫付に適し、揚搭作業容易である

今回同隊の手に依り江橋に水標觀測所が新設された

北鐵交渉の蘇滿委員東京着

第一回交渉は廿六日

（東京廿三日發國通）北滿鐵道讓渡に關する蘇滿兩國交渉の爲め大橋滿洲國外交次長は今朝來京、更に今夜はソヴィエート側委員外務人民委員會極東部長コズロフスキー氏及北鐵副理事長クズネツオフ氏等も來京、更に滿洲國側隨員たる北鐵王常務理事沈瑞麟氏等も明日若くは明後日着京、ソ聯側は駐日大使ユレネフ氏、滿洲國側は丁士源公使を加へて陣容が整ふが、第一回會談は廿五日と豫定されて居た處日曜日なるため廿六日あたりとなる模樣で、外務次官々邸を會議の場所とする事となつて居る

三木武吉氏の金鑛買收金橫領さる

犯人はブローカー三浦光治

（東京二十二日發國通）三木武吉氏の例の北海道金山買收のブローカー三浦光治は昨日警視廳で取調べられたが、三木氏から金山主側に渡す金を渡さず告訴されたものである取調べの結果ゴールドラッシュの意外な事實も暴露すべく興味を持たれてゐる

新舊憲兵隊特高課長

挨拶に來社

新京憲兵隊本部特高課長として來任した富田直澄大尉、前任の山村義雄大尉同伴二十三日更任挨拶に本社へ來訪した因に山村大尉は二十四日午前九時發新任地奉天へ赴く

德永博士一行

近く學術探檢開始

（東京二十一日發國通）滿蒙學術調査につき新京其他各方面と打合せを進めた同學術團長德永重康博士は二十一日門司着語る

調査團一行は二十五日門司發新京で勢揃ひして三十名の護衛兵、機關銃數挺を携帯十臺のトラックに分乘し內蒙古を中心として滿蒙の寶庫の扉を開く事になつた、外蒙古は米人アンドリウスが過去五回に亘り調査したことがあるが、內蒙古及熱河は全く學問上未開通でた我々は夢の國に近代科學のメスを振ふ譯だ、今回の如く全科學を網羅した調査團は我國始めての試みだ、調査は三ケ月で終了する豫定

だから九月末には素晴らしい土産を持つて歸り度いと期待されて居る

朝鮮總督府

大畑作計畫を樹立

新に百二十萬町歩を開墾

（京城廿三日發國通）朝鮮總督府では米穀統制を契機として棉花獎勵に呼應し大畑作計畫を樹てゝ目下開會中の各道土地改良主任官會議に諮り意見一致を見たので、近く總督歸任を待ち最後的決定を爲す事になつた、右計畫に依ると現在耕作されて居る畑地二百八十萬町歩に對し新に百二十萬町歩を開墾し隔明的農業を經營し、現在の農作物の倍額を收穫せんとするものであるが、之には莫大な經費を要するので之を二期乃至三期に分けて推行すべく、第一回は明年着手の豫定である

交通會議設置を討議

事務次官會議で

（東京廿三日發國通）二十三日午後二時總理官邸で事務次官會議を開催し、內務、大藏、遞信、陸軍、海軍、鐵道の各次官參集して荒木陸相提唱の交通會議設置問題を協議の結果、鐵道會議、土木會議は其儘とし之等の上に大規模の會議を設定するに決定し具体案は法制局に作成を一任することゝなつた

陸軍明年度新規要求

四億五千萬圓程度

（東京廿二日發國通）陸軍では廿二日午前豫算省議を開催先づ柳川次官より各局課より提出された明年度新規要求概算は

一、滿洲事件費は未だ全部の要求案も決定を見ぬが、熱河省の治安確保の關係上本年度滿洲事件費一億四千六百萬圓より多少增加を來すものと思はれる

二、兵器其他軍用機材整備費は繼續費繰上げにより二億四千九百萬圓の要求額より多少增加する事になつた

三、補備教育費六百廿四萬圓

四、制度改善費約四百萬圓

五、陸軍燃料政策各月五百萬圓

六、兵役義務者待遇審議會決定事項中結核療養所設立其他の經費五百萬圓

にして、明年度新規要求總額は約四億五千萬圓に達する旨說明し、更に案の內容に就き小野寺計理局長並に大內主計課長より說明、全般の項目に亘つて大体の審議を行ひ、更に廿四日省議を開き協議する事になつた

滿洲國新國有財產法

廿七日頃公布

國有財產科で事務取扱ひ

國有財產の管理、處分は國家財產上重要にして、歲計豫算と密接なる關係を有するので統制的法規を必要とし滿洲國財政部に於ては從來の管理官產規則が舊政權時代の制定に係り、時勢の推移に伴はず殊にその管理方法に關する規定を缺き不備不便を感ずる點尠からず

現行官制上よりするも適合しないので新國有財產法の制定を急いで居たが、愈々廿三日中に法制局の審議を了し、二十六日の閣議に上程、二十七日の參議府會議を經て公布さるゝことゝなつた

新國有財產法は世界の範とせられてゐる日本國有財產法に準據、滿洲國の特殊事情を加味したもので、同法內容は

一、國有土地處分發給執照條例（敎令）＝日本の地券發給條例に相當

一、國有財產整理資金特別會計法（敎令）＝日本の會計法に相當するもの

一、契約規則（敎令）

一、國有財產取扱規則（財政部令）

一、雜種財產取扱規則（財政部令）

一、官有未墾地開墾條例並びに同施行細則（敎令）＝移民關係の事項

等より成り、日本人の土地商租に關しては內國人に對する法規を準用することになつてゐる

尙ほ同法施行と共に從來の官產科を國有財產科と改稱し、國有財產の管理處分並に商租事務、地券發給事務の一切を取扱ふことゝなつたが、同科では土地局と協力して全滿の地籍調査を行ひ浮多地（脫落地）を調査すると共に公用財產、公共用財產、鑛業財產、雜種財產（不用處分財產）の精密なる調査を行ふ筈である

在大黑河特務機關長

橫井少佐麻布三聯隊へ榮轉

―黑河の現狀を語る―

（ハルビン廿二日發國通）今回麻布三聯隊附に榮轉の大黑河特務機關長橫井少佐は現地よりチチハルを經て來哈したが大黑河の現狀に就いて左の如く語つた

もう大黑河も平穩無事だ、殊に航路が開けてから街もすつかり活氣付いて來た、日本人も現在七十人以上だあの邊の物資缺乏はお話にならぬ酷さで領事館等でも露人が如何して食つてゐるか不思議がつてゐる、黑パン一片が百ルーブル、牛乳の如きは一人前百四、五十ルーブルもする、然るにダリトルグ（極東通商貿易）では安價な商品が豐富にストックされてゐる、さうして限定された分量の食料が供給されてゐる有樣だ

尙ほ同少佐は數日內に東京に歸任する筈である

特務部入の

庄田作輔氏等來滿

（大連二十三日發國通）關東軍より招聘されて特務部入りをした農林省山林局庄田作輔商工省中井武雄同菱沼勇の三氏は二十三日入港の香港丸で來滿したが庄田氏は語る

私が山林方面の政策を擔當し中井氏は化學工業、菱沼氏は商業政策の仕事をやります今回軍から招聘されたのは全部八名で次便の船では法制をやる前北海道土木部長植木久男氏が來滿する豫定です

米國務次官補倫敦到着

ウォール街の景氣建直しに

（ロンドン廿二日發國通）ル大統領の懷刀と言はれて居る國務次官補モーレイ氏のロンドン着は各方面から多大の注意を拂はれて居るが、ル大統領が氏を派遣したのは、米代表部內の不統一を收拾せんとするにある外更に重大理由は爲替の安定や關稅問題に關し英米が余りに接近し過ぎたとの報道より折角上りかけたウォール街の景氣が下降したため之を防止する役割を演ぜしめんとするにあると

總務司長

高橋新任實業部

大連着

（大連廿三日發國通）今回滿洲國實業部入りをした前商工省特許局審判部長高橋康順氏は二十三日入港の香港丸で來滿したが、船中語る

實業部の總務司に働く事になつて居ります着任後は滿洲國の商標法、專賣特許法の制定にも關係することゝなるでせう

此の前滿洲國から立案を依頼された商標法の案文は出來上つて送つてあります

千島列島に建設

船舶前進根據地を

來年度より築港に着手

（東京二十二日發國通）北洋漁業進出に鑑み、從來船舶は函館や小樽を根據としたが漁場に着くのに數日乃至二十日を要し不便なので千島列島內に築港の聲が高まつて來たので農林省では北洋漁業前進根據地を調査し來年度豫算に築港經費を計上し築港に着手する事となつた、根據地としては占守島の片岡灣、別飛灣、幌筵島の柏原灣、村上灣、桓熊灣、擂鉢灣の六灣が擧げられてゐるが別飛、村上の二灣が有力で五ケ年繼續計劃で初年度經費は二、三十萬圓である

取引所長

當分山內氏が事務取扱

新京取引所長奧平廣敏氏の新設ハルビン取引所常務理事へ轉任に伴ひ、新京取引所信託會社專務取締役永原岩雄氏も七月下旬に於ける定時總會に於て辭職する事となつた、取引所長の後任は休業狀態となつてゐる今日當分置かず同取引所の山內寅重氏が所長事務取扱ひとなり、一方信託會社も現狀維持で進むことゝ確定してゐる

天氣と氣溫

二十三日の氣溫最高二十五度九、最低十七度六、二十四日の天氣南東の風驟雨一時晴れ

地方長官異動內定

（東京二十三日發國通）地方長官異動は昨二十二日左の通り內定し二十三日の閣議で正式決定の筈である

鳥取縣知事　館哲二
任埼玉縣知事

北海道土木部長　畑山四男美
任鳥取縣知事

京都內務部長　藤岡長和
任德島縣知事

東京府內務部長　金森太郎
任北海道土木部長

尙ほ警視廳村地主事は北海道土木部長を拒絕した

妻末子儀豫而滿鐵病院に入院加療中の處二十三日午後三時五十分藥石の効なく遂に永眠致候就ては本廿四日午後四時自宅出棺同四時三十分より西本願寺に於て葬儀相營申候

六月二十四日

喪主 原田兼男

愛國の熱情溢るる 婦人達の集ひ

きのふ新京高女で盛大に 愛國婦人會新京支部發會式

愛國婦人會新京支部の發會式は豫定の如く二十三日午後一時半から新京高女講堂において盛大に舉行された、東京本部から

『本野』會長、龜井理事、堀內顧問、小原事務總長その他、支部員凡そ二百余名出席來賓として小磯關東軍參謀長、小林駐滿海軍部司令官、栗原總領事、荒木地方事務所長、江部高女、東商業兩校長、勘崎地方委員會議長その他多數臨席したほか、新京高女生も參加して極めて盛況の裡に式は新京醫院內科醫長前野百合子夫人司會の下に幹事赤木夫人の開會の辭によつて始められ、一同まづ國歌君が代を

『合唱』して後、本野會長が皇后陛下の令旨を奉讀、つゞいて龜井理事が總裁宮殿下の諭旨を奉讀、支部長栗原總領事夫人の式辭(奉天田中夫人代讀)あり、引續き本野會長、小磯參謀長、新京聯合婦人會代表青木新京領事事務所長らこもごも起つて祝詞を述べた、終つて同會の功勞者として新京中央通富士屋旅館五味シカノさんに本野會長から有功章を授與、栗原總領事の發聲で愛國婦人會の萬歲を三唱して盛況裡に二時半閉式した

講演會も盛況

なほ式後午後三時から講演會を開き、まづ本野會長の挨拶について同會顧問堀內文次郎氏は「日本婦人の覺悟」について又同會事務總長龜井聞同候小原新三氏は「愛國婦人會の現在と將來」についてそれぞれ有益なる講演をなし、聽衆に多大の感銘を與へ最後高山新京署長夫人の閉會の辭があつて午後五時滯りなく終了した

諭旨

愛國婦人會滿洲本部の組織新に成り茲に發會式を行ふは欣喜に堪へざる所なり、今や東洋の天地干戈僅に戢まれる觀あるも今後の事未だ遽に豫斷し難きものあり其の平時たり非常時たるとを問はず婦人銃後の力に依りて將兵士氣の鼓舞に資し傷痍軍人及軍人遺家族の慰恤に或は又婦人報國の實を舉げんが爲各般の施設及運動に率先して忠愛の至情を獻ぐる[illegible]重大使命にして方今の世局に處するに當り深甚なる意義の存する所たり若し夫れ會員奉仕の熱誠に依つて以て日滿の親善に稗益するあらば兩國國運遂行上に寄與する所大なりと謂ふべし會員諸氏宜敷和協一心興國濟世の一途に邁進し以て會運の發展に資せんことを望む

昭和八年六月二十日

愛國婦人會總裁故依仁親王妃 周子

遊女射殺犯人未だ逮捕されず

當局搜査に大活動

夕刊所報、遊女四名、ボーイ一名を射殺し逃走した滿洲國執政府拗衛軍二團第六班中士張廣遠(二六)の行方に就いては首都警察廳を初め各署で大搜査を續けてゐるが二十三日夕刻にいたるも逮捕するに至らなかつた

松花江水路調査 完了 實際的仕事にかゝる

二十三日午前駐滿海軍部佐々木參謀は左の如く記者團に語る

松花江の水路調査は滿洲國の依頼で海軍測量隊がやつて居るが大体完了したので愈々本格的に航路標識を立てて實際的な仕事にかゝる筈だ、其中滿洲國の松花江航政局でも出來れば海軍部が指導して充分效果あらしめたいと考へてゐる

大同、利民 廿七日進水式

二十七日ハルビンに於てかねて建造中であつた河川砲艦大同利民各五十トンの進水式が行はれる事となつた、同艦は本年二月神戸三菱造船所で建造に着手、五月ハルビン東北造船所で組立てたもので速力十二節、滿洲國河川砲艦の精銳である、進水式には金侍從武官、張軍政部總長、王軍政部次長、張軍政司長、多田顧問、伊藤顧問、范艦政科長、日本側より小林駐滿海軍部司令官等日滿官民多數列席の筈で、當日の盛況ぶりが豫想される、進水式後同艦は現在松花江の警備に當つてゐる利綏(二七五トン)利濟(二二四トン)江中(二一〇トン)江清(二一〇トン)江通(一五〇トン)と共に航運の保護掃匪事業、警備等にあたる筈で、計畫中のモーターボート砲艇四隻(內一隻二〇トン殘りの三隻は十四トン)を加へて滿洲國海の精銳となるものである

航空郵便の利用者激增

最近迅速をモツトーとして航空郵便を利用する者が著しく激增し五月中に於ける、新京郵便局取扱の航空郵便の數は實に豫想外の數字を示してゐる、即ち同局の發送數は內地へ九百二通、內普通郵便七百八十九通、書留百三通、小包十個、朝鮮へは普通郵便三十通、滿洲各地へは六百七十通で、普通六百六通、書留四十九通、到着の分內地八百九十六通、內普通七百七通、書留九十五通、小包九十四個、朝鮮普通二十五通で、滿洲各地よりは直接滿洲國局へ配達するから皆無となつてゐる

盗犯防止の爲 雜業取締を嚴重に

首都警察廳で取締規則施行

司法統計から見る犯罪者は一定の住所を定めず常に市內を轉々として營業を行つてゐる雜業者が一番多いため、新京首都警察廳保安科では盗犯防止策として來る七月一日から雜業取締規則並に附屬法を發布し、全市で營業を行ふ雜業者の徹底的調査をなし從四寸橫六寸のカード式營業許可證を作製し營業主の本籍、住所氏名、年齡職別名を記入した上寫眞一枚を附しその裏面に指紋を取ることに決定した、なほ營業者は日出前、日沒後に營業をなすことを許されない、又每年一回(五月)に所轄警察署に出頭して許可證及容器の檢査を受けることになつてゐる雜業取締規則は左の如くである

雜業取締規則

第一條 本則に於て雜業と稱するは屋外に於て左の業を爲すを謂ふ

一、紙屑買、綿屑買、襤褸買、空瓶買、空樽買、空罐買、毀れ硝子買、屑鐵類買其の他特殊物品行商

二、靴直、洋傘直、履物直、錠前直、帽子洗濯及物研

三、煙管羅宇替

四、紙屑拾、布屑拾、毛屑拾

第二條 雜業を爲さむとする者は本籍住所氏名生年月日雜業種目を具し最近六ケ月以內に撮影せる手札形寫眞二枚を添へ所轄警察署長に願出許可を受くべし

第三條 雜業者左の各號の一に該當する場合は五日以內に所轄警察署に屆出づべし但し第四號の場合は戶主又は家族より其の手續を爲すべし

一、廢業したるとき

二、他の警察署管轄內に轉居したるとき

三、許可證記載事項に異動を生したるとき

四、死亡又は所在不明となりたるとき

第四條 許可證を亡失毀損したるときは五日內に所轄警察署長に屆出許可證の再下附を受くべし

第五條 雜業を爲す者は每年一回(五月)所轄警察署に出頭し許可證及容器の檢査を受くべし但し正當の事由なくして檢査を受けざるものは廢業したるものと看做す

第六條 雜業者は從業中必す許可證を携帶し他人に貸與すべからず

第七條 雜業は日出前日沒後に於て之れを爲すことを得ず

第八條 雜業を爲す者は居住者又は管理者の承諾を受くるに非ざれば其の邸宅建造物內に出入すべからず

第九條 本則に違反し又は公安風俗を害する虞あり若は就業上不適當と認むるときは許可を取消すことあるべし

第十條 本則に違反したる者は一圓以上十圓以下の罰金に處す

附則

本則は公布の日より之れを施行す

本則施行の際現に雜業に從事する者は十日以內に所轄警察署に願出許可を受くべし

新設市街の料亭地區制限協議

けふ日滿當局者が寄つて

國都建設局の新市街計畫の商業地帶と住宅地帶における警察取締營業の制限並に舊市街における料理店飲食店等の地域の制限を決定するため二十四日午後二時から民政部警務司保安科、首都警察廳保安科、新京總領事館警察署保安係各關係者が總領事館警察署に集合し協議をすることになつた

六百の馬賊 關內甘溝附近を荒す

(奉天廿一日發國通)某所入電に依れば、關內撫寧縣を距る三十里の地點甘溝附近に大耗子を頭目とする約六百餘りの匪團橫行し、右部落にて掠奪、放火、人質、拉致等暴虐の限りを盡して居るが、同匪團は輕機關銃二挺長銃モーゼル、步兵銃等合計六百挺及び馬匹二百頭を有し、相當優勢なるものにして、その數も漸次增加の傾向あり、最近昌黎驛頭の形勢あるため當局では嚴戒中である

中銀糧業從業員を七月早々整理

總人員七百名に上る

既報滿洲中央銀行實業局は實業部の認可を得て分離獨立し二十日創立總會を開いたが

『今回』の分離獨立に伴ひ從來の營業種目中製紙、製粉、油房、糧業、林業を除き當舖業を主に釀造、雜貨を兼業とする事に決定した爲、これに依つて起る人員の整理は四月上旬第一回の約千六百名に亘る人員整理を斷行したが、第二次として糧業從業員を中心とした全滿各地の直屬店及間接隸屬店の人員約七百名の整理を七月早々行ふ事に確定した模樣である、今次整理されるものは舊官銀號時代より關係のあつたもののみで、新設の大興公司と手を斷つても

『充分』從來通り糧業を繼續し得るものが大部分を占めてゐる

西〇團長來奉

追憶新に當時の模樣を語る

(奉天二十三日發國通)西〇團長は關東征戰一段落と共に情況報告の爲高場高級參謀菊地副官を帶同本日承德より飛行機にて奉天東飛行場に到着したが西〇團長は『態々有難う』と挨拶の後當時を追憶しながら感慨深く語る

『征戰』に於て部下將兵の果敢なる行動に依り關東征戰も一段落を告げたが今次の『征戰』が如何に奮戰力鬪したか一例を舉ぐれば、私は忙しい中からも時々衛生班を見舞つた、其時重傷で伏して居る將兵は私の顏を見る度に『すみません』と云ふので私は『濟まん事があるかそれは僕が君達に云ふことだ』と言つてなだめた、又輕傷でびつこ作らも步ける樣になつた兵士は、『閣下近く再び戰場に出ることが出來ますこんな嬉しい事は御座いません』と云ふ私はそうした強い兵士の言葉を聞く時に何時も淚の內からも微笑ませられました御承知の例の池上獨立騎兵隊長が四月二十二日南天門攻略の際私は後方高地で見て居た所拔刀して第一戰に立ち終始奮戰し居たが遂に敵彈の爲倒れた、倒れると同時に敵を斬つて斃れた死体を調べた時には身に

『八彈』を受けて居た又池上少尉は古北口の戰鬪の時等は刀が折れる迄敵を斬つた事があつた、同少尉は右の樣に豪膽であつたが又非常に人情深く人情隊長として部下から非常に尊敬されて居た池上少尉が戰死したと見るや同少尉の部下三十二聯隊三中隊加藤義雄上等兵は直ちに同少尉の戰死した所に行き『親愛なる小隊長殿は二十三日午前十時十五分戰死され[illegible]小隊長の仇を討ちます生前可愛がつて下さつた御恩は死んでも忘れません、小隊長殿の意圖を奉じて最後迄戰ひ追つて天國で御目にかかり報告致します』四月二十三日午前十時二十分小隊長戰死の所で誓ふ、と手帳に書き其後奮戰を續けてゐたが二十八日上旬予の戰鬪で左胸部に貫通銃創を負ひ戰死し檢死の結果、右の事が手帳に記してあつたので

『判明』した、其手帳は敵彈に依つて打貫かれて居た、其手帳は今でも丁寧にしまつてあるが之れは折があつたら天覽に供したいと思つて居る、加藤上等兵は衛生班に収容されたが見舞つた高野中尉を見て苦しい中から『中隊には將校が居りません早く歸つて下さい』と之れ迄言つたが遂に口もきけなくなり又暫くしてから紙に『中隊長殿七度生きて支那兵を討ちます』と記し遂に瞑目した、以上は單に一例に過ぎないが將來日本が如何なる困難に際しても此の將兵の精神さへあれば決して後れはとらないものと思ひ非常に嬉しく感じたと語り終つた西〇團長は當時を追憶し再び感慨に浸つた一行は明日遼陽衛戍病院に部下將兵を見舞ひ二十五日奉天發新京に向ふ筈である

滿洲國總領事館を京城へ設置要望

朝鮮總督府を通じ

(京城特電)對滿貿易の目覺しい躍進と鐵路の開通等で鮮滿關係は經濟交通各般に亘つて日と共に密接の度を加へ滿洲國の交涉事項も續出する有樣であるが、滿洲國機關への交涉事項は些細な手續關係に至るまで現在では一々駐滿大使館を通じる外なく時間的にも經濟的にも不便この上なく鮮內各機關より滿洲國總領事館の京城設置を要望して居たが、本府外事課でもその必要を痛感して今回駐滿大使館を通じ滿洲國に對し鮮內の意向を傳へ至急總領事館設置方を要請したので支障のない限り近く開設の運びになるものと見られる

各地方都市の建國運動大會概況

去る十八日の第二回建國大運動日は國都新京をはじめ全滿各地に於て盛大に舉行されたが地方における狀況は大略左の如し(新京協和會中央事務局着電)

△ハイラル 蒙古人を主とし參會者三萬五千人

△滿洲里 日鮮蒙露人を集めて新設の運動場に於て盛んに舉行

△洮化 桓人、輯安、新賓より參會、盛會を極む、總數五萬

△開島 參加者總數三萬五千

△穆稜 二萬七千

△克山 軍人、官吏參加して總數二萬

△山海關 參會者五萬で國境を超えて二萬五千の觀衆參集

△熱河 參會者三萬、省公署其他の援助を受け盛會を極む、當日旗行列を行ふ

藝術使節一行 參考品を蒐集離滿

廿一日大連發うらる丸で

(大連二十一日發國通)輝かしい藝術使節一行は滯滿約一ケ月ハイラル、山海關、承德の各地を觀察し二十一日出帆の「うらる丸」で歸國の途に就いたが長谷川氏は出帆前語る

觀察旅行中各地で研究材料を蒐めて來た何れ內地で展覽したいと思つて居る、蒐集したものは建築用材、瓦(遼陽寺のもの)等を主とし中にも興味深く思はれたのは大佛寺の唐代末の木造建築物であつた、熱河の建築物には西藏式が加味され熱河の環境に順應する用意がしてあるのに感嘆した

中山氏語る

滿洲は元來藥草の名產地として知られ殊に甘草は有名だが自分は今回は藥草を蒐集に來たのではないので藥草に關する話題を齎り持たない、新京では政府當局に對し日本の樣に皇漢醫學を禁止する樣な馬鹿な眞似をするなと注告して置いた

[illegible]

[illegible]その儘貨車內に收容されその數量現在(二十日)四車六百個に達し滿鐵ではそれが爲め臨時貨物倉庫を一兩日中より保線區員の手に依り建設着手する模樣である

原田刑事夫人

新京署司法係原田刑事の夫人スエコさん二十六歲は病氣のため滿鐵病院に入院加療中の處藥石効なく二十三日午後三時半永眠した

安東だより

滿鐵社員會 安東聯合會

(安東發)滿鐵社員會安東聯合會全體會議は二十二日午後六時から安東俱樂部で開かれるが、議題は三十五件の多數に及び就中人事問題の徹底公平、無任所高級社員整理、重役選舉制等相當突込んだ議論が闘はれるべく見られてゐる

臨時貨物倉庫建設

(安東發)安東卸し貨物の激增は每月素晴らしいものであるが、滿鐵の專用貨物倉庫なきこれが爲め充滿し從つて後着の貨物(主に雜貨)は已むを得ず野積としなければならない狀態であるが、雨期を目前に控えて野積は危險なので

鴨江の水を一旦溜池へ

(安東發)水源地の溜濁せんとする狀勢に遭遇した市民の不便に鑑み安東地方事務所當局は既報の如く鴨綠江より汲水、配水してゐるが、江水の不衛生懸念のデマが飛んでゐるので、二十日より水源池內に江水約一萬噸溜池をしつらへるべく工事に着手したが、此處において出來得るだけ日光に晒し充分なる水質の檢査その他詳細に調査した後、改めて貯水池に移し濾過して絕對安心と爲したる後一般に配水することとなつた、尚地方事務所では全く恨めしい天氣に二十二日午後三時から水源池で安東神社の郡甲神官を招聘し雨乞ひを執行することとなつた

情夫と共謀し夫を殺す

(安東發)五龍村明草溝居住農夏福吉(三四)妻夏陳氏(三〇)は同一家屋內に居住する李祥對の長男氏名不詳(二〇)と豫ねて只ならぬ關係を結んでゐたが四日前女は情夫と共謀し自宅で夫福吉を殺害の上同家の後方約半町の處に埋め李一家と共に子供三名を連れ安東方面に逃走してゐたことが十八日に至り判明した、右報告により安東審判廳より檢査官現場に出張、檢視を行つたが、薪割樣のもので頭部を一擊し更に麻繩を背部より大腿部に結びつけてあつたと

四平街から

修養團支部發會式

(四平街支局發)新たに血盟を固め機關區長伊保內盛氏を支部長として雄々しく產聲をあげた修養團四平街機關區支部では來る二十六日午後一時から大同電氣樓上にて本部團長蓮沼中將、岩井全滿聯合會理事長諸氏の臨席の上盛んなる發會式を舉行することとなつた

稻川公學校長赴奉

(四平街支局發)稻川四平街公學校長は奉天に於て開催の歷史研究委員會へ列席の爲め二十二日赴奉したが歸任は二十四日の豫定

四平街、公主嶺兩署對抗試合

(四平街支局發)四平街警察署劍道部では來る七月二日公主嶺署道場にて同署員と對抗試合を行ふ事に決定、選手十名を選出目下猛練習中である

傳染病日報

六月二十三日

一、春の傳染病の發生患者氏名(二十二日午後三時以降二十三日午後三時迄)

▲赤痢 祝町落合秀雄(六ツ)旅行中(來京)長尾辰夫(二六)永樂町長尾信太郎(二五)室町高田松右衛門(四三)砂町森田ユリ子(四ツ)吉野町四笹本清香(三九)揮河田中三德(二一)住吉町佐々木(三ツ)計十三名

▲猩紅熱 曙町荻尾アヤ子(三ツ)常盤町西川ウミエ(一二)西川ハナ子(四四)

▲腸チブス 露月町吉村トシ子(二二)

▲一累計二百十六名

▲一ヶ月現在八拾四名

陣中美談

爆傷を顧みず　上官や戰友を看護す

歩兵第二十三聯隊機關銃隊　陸軍歩兵一等兵　山本豐三郎

今度こそはと期待し且力み居りしあの嶮峻なる長城を強固に守れる敵も昭和八年四月十日美事に撃破せられ長城には我軍旗と日章旗空高く飜る部隊は更に前進し冷口西北方高地を占領す、午後六時四十分敵砲彈は我猛撃中なる我曲射歩兵砲に命中し大迫中尉以下戰死傷十名、此の時山本一等兵は右眼に爆傷を受け鮮血に塗れ戰友の繃帶を勸むるのも聞かず

山本は大丈夫、大丈夫と言ひつつ彈雨の中に負傷者を激勵し大迫中尉の繃帶を手傳ひ、又小港軍曹の傍に在りて軍曹の名を叫びつつ一言なりと遺言をさせめ軍曹の逝く迄看護したり、後始めて自分の繃帶をなし中尉の愛用せし日章旗を砲の位置に立てて運ばれし中尉の傍を離れず最後迄看護す優勢なる敵も我猛攻に拂曉南方に退却し後始末の際は爆傷の痛みもよそに働き己が立てし日章旗を中尉の記念にと手にとり打ち見る樣は傍に居る者の涙をそそれり言葉には上を敬慕し戰友を愛するの情籠れり、實に一等兵の行爲は他をして感動せしむるに十分なり

砲と共に我死なん　剛勇果敢な小隊長

歩兵第二十三聯隊機關銃隊　陸軍歩兵軍曹　上山龜吉

昭和八年四月十日冷口附近の戰鬪に於て上山軍曹は曲射小隊長として機關銃隊長林田大尉指揮の下に長城攻撃に參加し、僅か十五名の人員を以て砲及彈藥を携行し嶮峻なる山地に陣地を選定して適切なる射撃指揮の下に聯隊主力の攻撃に貢献せる所甚大なり、爾後攻撃奏効後同じ情況にありし肥田木上等兵の平射分隊を併せ指揮し、主力の追撃に跟隨して前進中、地形險絶加ふるに彈藥は各人二箱を携行し砲の搬送に交代者なかりし爲必死の努力遂に力盡きて主力に後れ午後五時三十分頃漸く冷口北側高地に進出せり、小隊長は此の頃第七中隊方面に銃聲盛なるを聞き部下の疲勞をも顧みず志氣を鼓舞しつつ同方面の戰鬪に參加せんと急進せり、午後七時頃數百の敵は優勢なる敵の掩護射撃の下に第七中隊の陣地に突入し同中隊は敵の追撃砲小銃彈或は手榴彈の爲中隊長及小隊長始め敵彈に傷き多くの死傷者續出し陣地の右翼に動搖の色あり、此の時陣地の右翼後方約十米の附近に砲を据えし上山小隊（肥田木平射分隊を含む）も將に敵兵に蹂躪せられんとせり、勇敢にして剛膽なる上山軍曹は既に決する處あり部下をかへり見「砲は我等の生命なり潔く出でて砲と運命を共にせん」と訓じ、將に敵に突入せんとするや恰もよし機關銃隊元池曹長の指揮する機關銃小隊の來着せるを見相共に携へて敵に突入せんことを誓ひ北側鞍部に陣地を選定せる松田曹長の指揮する機關銃小隊と連絡して掩護射撃を要求し敢然立ちて敵の左側に突入せり、敵は機關銃射撃に依り多大の損害を受け且上山及元池兩小隊の勇敢なる突撃に依り算を亂し西方に潰走せり、之が爲第七中隊は危きを免れ遂に其陣地を確保することを得、爾後第二回の敵の夜襲をも撃退して其任務を達成することを得たり、此戰鬪に於て元池曹長の協力、松田曹長の援助共に賞すべく、特に上山軍曹の砲と運命を共にせんが爲出でて、敵に突入し死地に活を求めんとする氣慨は實に賞讃に値す、戰後軍曹は默として語らず當時の第七中隊が特に其武功を推奬せり、依て其の事實を紀し陣中美談として茲に錄す

難事を求めて　默々と働く分隊長

歩兵第二十三聯隊機關銃隊　陸軍歩兵上等兵　淺田義彌

敵の樞軸たる標高五九一の高地占領の命を受けし第五中隊に機關第二小隊（第四分隊欠）は配屬を命ぜられ第三分隊長として參加せり、性質温厚にして勤勉能く常に卒先事に當れり、去る三月五日永金德の戰鬪には自動車故障の爲後れ戰鬪に辛ふじて參加せりそれ以後時の來るを待ちたるに愈々時機到來し、今度こそはと決心堅く命を受け出發以來七貫以上の三脚架を四番と交代して嶮峻なる山地を搬送し銃手の疲勞を見るや直に交代し又部下を激勵し、志氣を鼓舞し汗に塗れ乍らも苦惱や疲勞の色を見せず、銃隊主力に合する間二里以上の山地を搬送したり、主力に合し陣地構築に方りては卒先圓匙を取つて彈雨の中に掩体を二つ午前一時迄構築したり、其の他夜間の警戒等には自ら進んで當り其任務を完ふしたる行は他の模範とするに十分なり

海の外から

□改良鞠入れベース　野球國米國の少年チーム聯盟では従來使用の成人用ベースが往々少年達を怪俄させ危險なるに鑑み、爾後ズック製鞠入れの改良ベースを用ひることに決した

□自動車に展望鏡　英國交通協會では自動車交通事故を防止する爲、運轉手台に前後左右の見える精巧な展望鏡を創製設置することになり、目下各所轄警察者の應援を求めてその取付方を奬勵中である

□列車運搬用渡船　佛領印度支那に在るドングハイ河は兩堤が水面より著しく高く如何に近代技術を以てするも鐵橋架設工事が完全に出來上らない爲此の程列車運搬の渡船を建造した

□ボート附トラック　加奈陀ケ府は同國山村地方における消防設備の完全を期する爲、超スピードのボート附トラックを建造使用せしめることとしたが、是は出火現場に馳けつけて池沼の深底にホースを下す際ボートを利用するのだそうな

□フランス猫クラブ創立　フランスのルハブール要港地衛生技師アドリアンロイ博士はペスト菌の媒介をする鼠類の剿滅を期し、豫て之が徹底的驅除方法に關して部内職員等と鳩首協議してゐたが、結局家猫を特殊教育して鼠取り專門の猫族を繁殖せしめることとし、近くフランス猫クラブを創立して、全國的に猛宣傳を行ふこととなつた

門前の虎　後門の狼

（四十三）　黒頭巾評

黒『五十二』と曲つた。それを白は『五十三』と約へた。

黒『五十二』の曲りは良い手である。後で、（い）の頂けを見てゐるのだから、白は香ばしからぬと言つて、白『五十三』（を）（ろ）なぞと飛んでも、直ぐに（い）と頂けて來らるかも知れぬ。孰れにしても、白は地の減りは免れぬ所と覺悟しなくてはならぬ。

黒はその抱き頂けを殘して置いて『五十四』と中央へ飛び出した。今度は白地を中腹の方から削らうと構へた譯である。白は實に多忙である。黒『に』白（ほ）の時、黒（い）と抱へて來るのであるし、又白（ろ）と懸け粘ぐと、黒は（ほ）と尖んで來るのであるから、何うにも助からぬ。前門の虎、後門の狼である。

方向を換へて

それで白は暫く、その方面の手當は見合はして、『五十五』と黒の缺點を覗いたのだ。

こう覗かれて見ると、黒も一寸應手に困つた形である。

それ位なら、寧ろ、黒『五十四』の手で、（へ）と綽ね、白（と）黒（ち）白（り）黒（ぬ）といふ風になつて行つたならば、たとへ、五十四の要點を白へ譲つても、黒は其代償を白陣の厚壯を來す事によつて得られた事も想像に難くはない。のみならず、白には未だ（い）の鍔りの缺點を殘してゐるのであるからその方が却つて勝れてゐたのかも知れぬ。だが、そこは碁の逆睹し難き面白味である。對手の手は凡てを豫想する譯には行かぬ。殊に上手に於て然りである。で、誰でもよく言ふ事である

こうして置けば良かつた。あゝして置けば良かつた。あゝして置けば勝つたのだ。と。でも、それは凡て後の祭りである。吾人はその憾み多かりし過去を顧みて、斯樣な愚しい感慨に耽るのも常住である。だが、これも人間の惠まれた宿業の一種と見れば文句も言へぬ。

放棄する擧に出る

黒は『五十六』と尖んだ。『二十六』以下の三子を拋棄する擧に出た。

私は、黒が『五十七』と粘ぐものと許り思つてゐた。そうしたら、白（る）と飛んで見る積もりでゐたのである。處が意外にも、黒『五十六』と尖んだので、大急ぎで白『五十七』と截り黒『五十八』の時白『五十九』と黒の三子を後生大事に抱へ込んで仕舞つた譯である。

だが、これも後で考へて見ると輕率極まる手であつた。黒の棄てたものを喜んで取るなぞとは何う考へても感心出來ぬ業である。

で、黒は『六十』『六十二』と覗いて先手を攫つた。これは確に黒の術中に陷つたものと言はざるを得ぬ。

圍碁新手合（三局の七）

三段　石塚行誠
三子　鶴岡隆

五十三 ルノ十五
五十四 ヲノ十六
五十五 ヌノ十五
五十六 ヌノ十六
五十七 ルノ十二
五十八 チノ十四
五十九 ルノ十四
六十 チノ十三
六十一 ルノ十三

入札

六月廿一日

△臘寫版 一臺 四二圓〇〇 昌和洋行
△方目鐘 三個 三七圓五〇 同
△圖面入戸棚 一組 七〇圓 ——山葉洋行
△タイヤー 六本 一四一圓〇〇 大同公司
△臘寫版 三臺 八四圓一品 和洋行
△箱尺 四個 三二圓二〇 水上洋行
△掛時計 一個 三六圓〇〇 森洋行
△掛時計（精工舍） 四個 四〇圓〇〇 同
△同（フリンス12） 五個 五二圓〇〇 同
△同（精工舍18） 一個 三六圓〇〇 同
△スリーホヤラスル 三ツ纖 四九圓二〇錢 丙興吉
△鋼銭所保管庫 一個 一四〇圓〇〇錢 昌和洋行
△スチールキャビチット 二個 二三四圓〇〇錢 アサヒ商會
△同 二個 四二〇圓〇〇錢 昌和洋行
△自動車修理工具 一〇三點 二七圓〇〇錢 淺野物産
△綴糸 三〇〇〇本 七〇圓五〇錢 鮎川洋行
△製圖器 三組 七八圓〇〇錢 水上洋行
△賞状 二〇〇枚 二〇圓〇〇錢 北原紙店
△ハトロル紙 四五〇〇枚 一一四圓七五錢 鮎川洋行
△方眼紙 一二〇〇 二三圓七六錢 同
△發文簿 一八〇冊 八六圓四〇錢 双發洋行
△物産配布依頼票 七五〇冊 三七圓五〇錢 双發洋行
△電報頼信紙 一五〇冊 三六圓〇〇錢 同
△現品カード 六〇〇〇枚 二三圓八二錢 近江印刷
△名簿帳 一〇八冊 二三四圓〇〇錢 滿洲日報
△公報受拂簿 一冊 一九圓五〇錢 近澤洋行
△カードリフチ 一卷 一一〇圓〇〇錢 北原紙店
△圖書 二二冊 三九圓五五錢 大阪屋
△電話機 三臺 一二〇圓〇〇錢 和登洋行
△自動錐 一〇個 二六圓〇〇錢 鳥羽洋行
△トランジット 一臺 四六〇圓〇〇錢 伊藤商行
△サイドカー修理 一輛 七五圓七八錢 ハレー・サービス・ステーション
△自動車修理 一輛 三七圓五〇錢 聯發汽車公司
△自動車修理 一輛 一八五圓四〇錢 同

六月二十二日

△圖書 二三冊 三九圓五五 大阪屋
△状袋 二〇〇〇枚 一六圓〇〇 文業官紙局
△人力車夫馬車夫證 四〇〇〇冊 一一九二圓〇〇 双發洋行
△旅券査證誓諾書 五〇〇〇部 二一圓五〇 交進社
△水標水位用表 一〇〇冊 二八圓〇〇 近江印刷所
△ラフ紙 五〇〇〇枚 一二五圓〇〇 北原紙店
△出勤簿用紙 一〇〇〇〇枚 五四圓五〇 近江印刷
△フルスカップ 一八〇〇〇枚 一五四圓八〇 鮎川洋行
△自動車体重計 一臺 一五圓〇〇 水上洋行
△紙綿機 一臺 二八圓〇〇 鳥洋行
△ケレベル 二臺 五一〇圓〇〇 水上洋行
△握力測定器 一個 三八圓〇〇 同
△身長測定器 一臺 一六圓〇〇錢 水上洋行
△肺活量計 一臺 六六圓〇〇錢 同
△脊筋力計 一臺 七九圓〇〇錢 同
△人體測定器 一臺 九八圓〇〇錢 同
△自動車修理 一輛 三六圓五〇錢 長春自動車工場
△同 一輛 四八圓九〇錢 同
△豫備活字 一組 二〇圓八七錢 日本タイプ
△水筒 五ケ 一三圓七五錢 平木洋行
△トランク（ファイバー）二ケ 二四圓八〇錢 同
△タイポグラマ用ローラー 三本 七九圓〇〇錢 北原紙店
△銅製巻尺 二ケ 一五圓〇〇錢 伊藤商行
△双眼鏡 二個 一七〇圓〇〇錢 内田洋行
△板硝子 一枚 一一圓〇〇錢 天野商店

工事落札

△專賣公署電燈新設工事　六月二十二日午前九時開札　落札 一三〇圓 新京電氣

◎未決定工事

△總務廳守衛室隣衛模様替工事　入札期日 六月二十二日午前十一時
△專賣公署電灯新設工事　入札期日 六月二十二日午前九時
△需用處印刷工場電燈新設工事　入札期日 六月二十二日午後一時
△奉天公立圖書館改修工事　入札期日 六月二十二日午前十時
△大屯警察署内の模様替工事　入札期日 六月二十三日午後四時
△奉天公立圖書館電灯改修工事　入札期日 六月二十三日午前十一時
△國務院總務廳需用處印刷工場電灯工事　落札 京津電氣 一八七圓七四錢　六月二十二日午後一時開札
△奉天圖書館改修工事　落札 久保田工務所 五七八五圓　六月二十二日午後二時開札
△奉天圖書館電灯工事　落札 北川電氣　六月二十三日午前十一時開札

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
氷鯛	三五	チヌ鯛	二六
アマ鯛	二六	ニベ	一四
サハラ	三五	スズキ	二五
サバ	一一	星カレ	二〇
ヒラメ	一六	マナカツ	五〇
オコゼ	二六	メバル	一三
ムツ	二一	ホーボ	一四
甲イカ	四〇	水イカ	六〇
イセエビ	六五	車エビ	四七
カニ	一八	アナゴ	二四
アワビ	六五	カマボコ	二一
チクワ	一〇	テンプラ	一七
シビ切	三五	舌	二一
ウナギ	九〇		

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第九十回　血の手紙（五）

「『……ハヽヽ。そのオロシヤの若い使節カチウドこそ、今のこの老ひ呆けた山の男さ。笑つてくれ、わしも笑はう。ハヽヽヽ』

長物語りをやつと終り、山の老人カチウドが、淡寂な笑ひを洩らした時分は、いつの間にか朝霧もはれ、北方の眞夏の太陽が、名も知らぬ山の嶺をのぼつてゐた。緑林は輝き、草は甘く匂ひはじめてゐた。

『お主、何故このわしを笑つてくれぬのぢや。ながらへて生き恥をさらすこのわしだ。笑つてくれ』

『いや笑ふどころではござらぬ。あまりにも珍らしい壯烈な、悲痛なその實歴に、それがしもすつかり感に入り申した。して、その手紙を認めてからは？……またそのイサクと申さるゝ女性は？…』

白軒も、かすかに溜息をもらしながら、くち木の肌を一膝乘り出した。

『その後のことか、勞苦の連續だが、物語りにもならぬよ』

『苦勞の筋をおきかせ下され』

『それから、つまり、その血のにじむ手紙をしたゝめ、大がめにふうじこめ、獨木船に托してから、わしとイサクは死の到來を待ちうけたが、いかほど待ち望んでも、アーホツク號のきよ軀はそれ以上海水を呑もうとはせぬのぢや。氣がついて見ると、なるほど船はそれ以上沈まぬも道理、右舷をそそり立つ岩せうに喰まれ、打くだかれてゐながら、船ていは、それとはかゝはりなしに淺瀨の磐上にピタリと据はつたのぢや。……運めいは今はの際にも死の勝利を與へぬ。しかも、活火山なるその無人島は、わしとイサクの上陸をこばむのぢや、船と島とのあひだの逆まく怒濤は、翼を持たぬわれらの自由にはならなかつた。そのうへ無卒にも、わしは獨木舟を沖の彼方に突つ放してしまつたのぢやつだ』

『すると、そのまゝ、アホーツク號で……』

『おうさ、そのまゝ船の甲板でわれらは空しく日を數へたのぢや。無人島ながらも、陸地を眼前に望みて徒らに焦慮し、煩悶した。そして、やがてわれらは寂しいあきらめを抱くやうになつた。死も生もない。ただの空漠に身をおいて、われらは寂しく笑つた。寂しく構抱いた。さらに寂しく一切をすてた』

『すてましたか、大なる使命を』

『おう、すてたよ。すてゝいつさう空漠に身をゆだねた。が、すてたのはわれらだけで、運命の悪戯は、なほもわれらを弄ぶことをすてなかつた、そのうちに日の經つにつれて岩せうのうへの船中の生存がわれらの身體を損ねた。ことに女の身に障りのこぬ道理がない』

『では、あの、イサクさまか……』

さすがに女だ。いまゝで無言のまゝ聞いてゐたフラメも、はじめて傍から口を出した。

『うむ、イサクの心身に異狀が來たのだ。長い航海の疲れ、それにも増して恐ろしい半沈みのやぶれ船のうへの生存……イサクがやぶれ船の甲板に横たはつたまゝ動けぬやうになつたのは、それから間もないことだつた。そして……』

『え、そして……』

『………』

白軒と、フラメは同時に身を乘り出した。

『そして、その土人娘のイサクは遂に死んでいつたのぢや』

『えツ！』

『病身を横へるしとねもなく、與へる食物も盡きたやぶれ船の甲板で、わしの手をかたく握りしめ、わしの瞳をじいつとみつめたまゝうれしさうに眼をつむつてしまつたのぢや。その眼は永遠に開くことがなかつたのぢや……』

山の老人カチウドの瞳のまぶたが涙にうるんだ。